

平成 2 3 年度

事業報告書

公益財団法人 東京動物園協会

目 次

第1 運 営 の 概 要

I. 運 営 概 要	1
II. 決 算 概 要	2
III. 組 織 概 要	3

第2 公 益 目 的 事 業

I. 事 業 総 括	6
〔1〕 決 算 額	6
〔2〕 管 理 施 設	6
〔3〕 主 な 実 施 事 項	6
II. 事 業 実 績	12
〔1〕 動 物 飼 育 及 び 展 示 業 務	12
〔2〕 野 生 生 物 保 全 業 務	27
〔3〕 教 育 普 及 業 務	28
〔4〕 受 託 業 務	52
〔5〕 市 民 ・ 団 体 と の 協 働 業 務	54

第3 収 益 事 業

I. 事 業 総 括	59
II. 事 業 実 績	60
〔1〕 便 益 施 設 等 の 経 営	60
〔2〕 そ の 他 の 事 業	61
III. 公 益 目 的 事 業 へ の 貢 献 等	62

第4 事 務 報 告

I. 役 員 会 議 の 開 催	63
II. 監 査	65
III. 人 事 関 係	66

第1 運営の概要

I. 運営概要

公益財団法人として2年目となる平成23年度は、年度前半の東日本大震災への対応、電力需給ひっ迫への対応を的確に行いつつ、来園者により多くの感動、より上質なサービスを提供できる動物園・水族園を目指し、各事業を着実に執行した。

上野では、ほぼ3年ぶりにジャイアントパンダを公開し、繁殖に向けた取組を着実に行った。またホッキョクグマの水中展示を新たに開始するとともに、将来の繁殖に向けてメスの新個体を導入した。

小笠原諸島の「世界自然遺産」登録や国連の提唱する「国際コウモリ年」にちなんだ企画展・講演会等を4園で開催、自然環境の保全と次世代への継承が課題であることを訴えた。さらに我々の身近に生息する野生動物に関して、展示や催物を通じて、前年度に引き続き生物多様性の重要性をアピールした。

より多くの人に学び、楽しんでもらえるよう、4園共通の外国人向け都立動物園・水族園紹介パンフレットを作成したほか、「Tokyo Visit Zoo キャンペーン」の一環として、季節に合わせた開園時間延長、冬の都立動物園・水族園めぐりなど、利用者サービスの向上に努めた。

収益事業は、ジャイアントパンダ公開の効果等により多数の来園者があり、事業収益も順調に推移したため、公益目的事業会計への繰入を増額し、ホームページの全面リニューアルなど事業を拡充したほか、観覧環境の整備等を進めた。また当年度より、井の頭自然文化園での売店営業を開始し、井の頭らしいメニューの開発や魅力的な商品構成で、来園者に喜ばれる店舗づくりに努めた。

各事業区分における主な実施事項は、以下のとおりである。

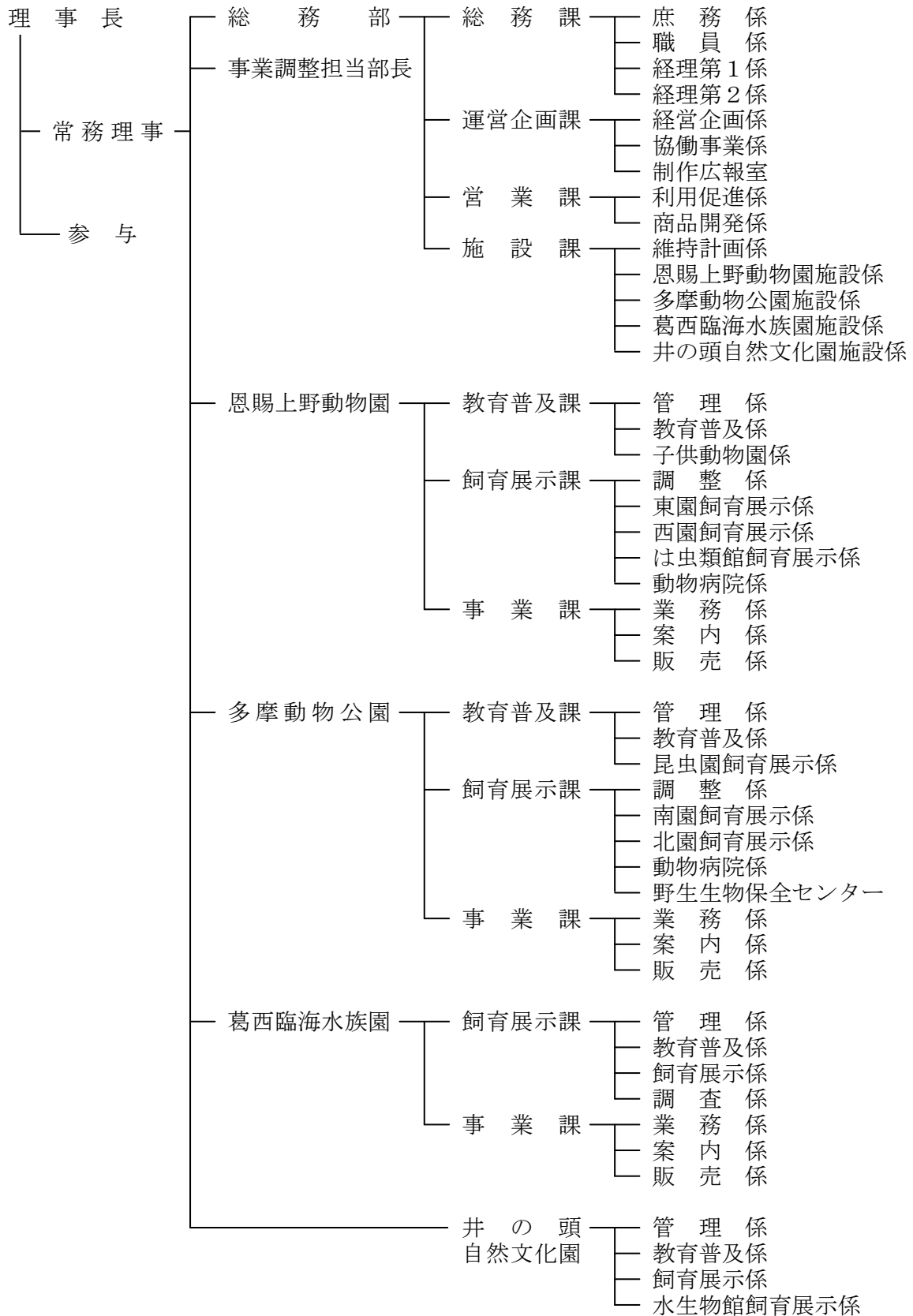
事業区分	主な実施事項
公益目的事業	(1) 創意工夫により、動物の魅力を引き出す展示に努めたほか、生物についての関心をより高めるための観察会の実施等、保全活動の普及啓発を行った。 (2) 国内外の関係機関と連携した個体交換を積極的に行い、コアラ等の希少種をはじめ様々な種の繁殖に成功した。 (3) 国際コウモリ年や小笠原諸島にちなんだ展示や講演会、観察会、企画展等の催物を通じ、環境保全や生物多様性の重要性を広くアピールした。 (4) ホームページや様々な媒体による広告、繁閑や季節に合わせた開園や時間延長、電車でまわろうスタンプラリー等、新たな利用促進策への取組を行った。 (5) 効率的な予算執行に努め、各園の便益施設等の集中修繕を実施するとともに、収益事業会計からの繰入による観覧環境の整備を行った。 (6) アクアマリンふくしまへの復興協力をはじめ、東日本大震災被災園館への支援や、募金活動などによる被災地支援を積極的に行った。
収益事業	(1) 新たなパンダグッズを多数開発・発売するとともに、ドネーション商品も充実させ、ジャイアントパンダ保護サポート基金に貢献した。 (2) 顧客ニーズに合わせた、安全・安心な商品の提供や、利用環境を整備するなど、顧客満足度の向上に努めた。 (3) 恩賜上野動物園内の売店・飲食店を改修し、顧客サービスと収益力の向上を図った。

Ⅱ. 決算概要(正味財産増減計算書)

(単位：千円)

科目	公益目的 事業会計	収益事業 会計	法人会計	合計
I 一般正味財産増減の部				
1. 経常増減の部				
(1) 経常収益				
基本財産運用収益	1,845	—	2,399	4,244
特定資産運用益	3	—	—	3
受取会費	6,549	—	—	6,549
事業収益	81,516	3,456,790	—	3,538,306
受取寄付金	32,019	—	—	32,019
受取委託料	5,468,684	—	164,203	5,632,887
雑収益	15,020	20,289	25	35,334
経常収益計	5,605,637	3,477,080	166,626	9,249,343
(2) 経常費用				
事業費	5,878,151	2,898,856	—	8,777,227
管理費	—	—	257,565	257,565
経常費用計	5,878,151	2,898,856	257,565	9,034,572
評価損益等	△32	7,020	8	6,996
当期経常増減額	△272,546	585,244	△90,931	221,767
2. 経常外増減の部				
(1) 経常外収益	13,477	20,815	0	34,292
(2) 経常外費用	5,960	13,450	32,100	51,510
当期経常外増減額	7,517	7,365	△32,100	△17,218
他会計振替額	270,000	△351,844	81,844	0
税引前当期一般正味財産額	4,971	240,765	△41,187	204,549
法人税等	—	67,000	—	67,000
法人税等調整額	—	△43,564	—	△43,564
当期一般正味財産増減額	4,971	217,329	△41,187	181,113
一般正味財産期首残高	287,153	748,128	327,969	1,363,250
一般正味財産期末残高	292,124	965,457	286,782	1,544,363
II 指定正味財産増減の部				
受取寄付金	16,832	0	0	16,832
一般正味財産への振替額	20,946	0	0	20,946
当期指定正味財産増減額	△4,114	0	0	△4,114
指定正味財産期首残高	59,925	0	0	59,925
指定正味財産期末残高	55,811	0	0	55,811
III 正味財産期末残高	347,935	965,457	286,782	1,600,174

〔2〕事務局組織



[3] 事務局職員数

(人)

固有職員			都派遣職員			合 計		
職 員	嘱託員	計	職 員	再雇用	計	職 員	嘱託員 再雇用	合 計
141	126	267	145	0	145	286	126	412

(平成 2 4 年 3 月 3 1 日現在)

第2 公益目的事業

都立動物園・水族園4園の指定管理者として管理運営を行うとともに、動物園事業の発展・振興を図り、動物とその生息環境について知識を広め、人と動物の共存に貢献することを目的に、動物飼育及び展示業務、野生生物保全業務、教育普及業務、受託業務、市民・団体との協働業務を実施した。

I. 事業総括

〔1〕決算額 5,878,151,002円（うち東京都協定額 5,632,887,000円）

〔2〕管理施設

名 称	住 所	開園面積(m ²)	摘 要
恩賜上野動物園	台東区上野公園、池之端三丁目	142,897.89	
多摩動物公園	日野市程久保六丁目、七丁目、南平八丁目	601,372.54	うち無料開園区域 77,508.22m ²
葛西臨海水族園	江戸川区臨海町六丁目	85,958.90	
井の頭自然文化園	武蔵野市御殿山一丁目、三鷹市井の頭四丁目	115,500.00	

〔3〕主な実施事項

1. 4園共通

【普及啓発・利用促進】

「国際コウモリ年」にちなみ、コウモリの研究者を招いた講演会や企画展を開催するとともに、夜間開園の際に観察会を行うなどコウモリの魅力を紹介した。また小笠原諸島の「世界自然遺産」登録にちなみ、小笠原に暮らす生きものについて生態や保全活動を紹介したほか、イエネコ対策などにも触れるなど4園で情報発信に努め、環境保全や生物多様性の重要性を広く来園者に訴えた。

「419」の数字にちなみ、4月19日を「飼育の日」と名付け、4園で様々なイベントを開催。キーパーズトーク等を通して飼育係の仕事を伝えるとともに、多くの来園者に楽しんでいただいた。

閑散期対策としての「マル得冬の都立動物園・水族園めぐり」や、鉄道会社との連携による「電車であらう動物園・水族園スタンプラリー」など、4園連携企画を充実させた。さらにポスター

の駅張りや新たに「トレインチャンネル」への広告掲出を行い、利用促進に努めた。

【被災地支援】

東日本大震災の被災地支援のために4園で義援金を募り、8,072,446円を東京都の被災地支援義援金口座に入金したほか、3,000,000円を被災地の動物園・水族館の支援のために（社）日本動物園水族館協会の見舞金口座へ送金した。

上野動物園、葛西臨海水族園、井の頭自然文化園では、東日本大震災で多大な被害を受けた「アクアマリンふくしま」の被災動物を一時的に預かり飼育するとともに、（社）日本動物園水族館協会を通じ4園で他の被災園館に向けた飼料等の提供を行った。

また、被災者・避難者に対する都の取組である入園料免除や無料公開についても、4園で積極的に協力した。

さらに「アクアマリンふくしま」と友好園館提携をしている葛西臨海水族園では、同館の一日も早い再開を願って5月1日から応援イベント『がんばれ！アクアマリンふくしま』を開催し、当園へ避難している生物の展示や被災状況のパネル展示等を行うとともに、同館の復興にむけて職員派遣等も行った。被災後1年にあたる3月には、7月に再開したアクアマリンふくしまの復興記録や支援活動の結果等を知らせるパネル展示を行った。

【節電対策】

本年は東京電力福島第1原子力発電所事故の影響により夏期節電を行った。各事務所での照明や空調などの徹底した節電努力に加え、グリーンカーテンの設置、燈火類の節電タイプへの交換、はめ殺し窓の改修、エアコン室外機への日差しの遮蔽等を行った。

上記に加え、上野動物園では使用電力量を監視する装置を設置して、使用電力の増加に合わせて循環ろ過施設や客施設の空調を停止し、多摩動物公園では節水に心がけて揚水ポンプの運転を減らすよう注意を払った。また、葛西臨海水族園では館内空調効果の補助のため、送風・扇風機を設置した。このように、来園者や飼育動物への影響が出ないよう配慮しつつ、4園で果敢に節電に取り組み使用電力を電気使用制限の基準内に収めることができた。

2. 恩賜上野動物園

【飼育・繁殖】

東京都と中国野生動物保護協会が締結した協定に基づき平成23年2月に来園した2頭のジャイアントパンダを、東日本大震災の影響による臨時休園からの再開園となる4月1日に公開した。初日の観覧列は3時間待ちになるなど公開当初から大変な人気となった。2頭は初めての日本の夏も無事に過ごし、9月からは繁殖に向けたハズバンダリートレーニングを行うなど、飼育は順調に行われ、3月末のペアリング時には2度の交尾が確認された。

新施設「ホッキョクグマとアザラシの海」は、震災の影響により予定より工期が遅れたが、10月28日にオープンした。ホッキョクグマが水中をダイナミックに泳ぐ姿を展示するほか、新たに小樽水族館と釧路市動物園より導入したゼニガタアザラシの水中の姿や、スバルバルライチョウの夏羽・冬羽同時展示にも取り組み、人気施設となっている。また、ホッキョクグマの将来の繁殖に向けて、新たな血統となるメスの「デア」をイタリアから導入した。

当年度は11年ぶりとなるベンガルヤマネコや、オグロヅル、コビトカバなど稀少種の繁殖も相次いだほか、繁殖に向けてキリンやスマトラトラの新たな個体の導入も実施した。

また、平成21年度に共同繁殖目的で豊橋総合動植物園に貸与したアジアゾウの雌個体「アーシャー」が9月17日に国内4例目となる子を無事出産した。

子ども動物園における新たなカピバラの展示や、小獣館のトビウサギとショウガラゴの展示のリニューアルなど、サポーター資金等を活用した展示改善も積極的に行った。

【保全活動】

保全対象種であるルリカケス、スバルバルライチョウ、アカガシラカラスバトの繁殖・保全の取組を引き続き行った。このうちルリカケスでは待望のメスのヒナを捕獲・導入し、今後の繁殖への取組に期待がもたれる。また、アカガシラカラスバトは順調に繁殖し、現在23羽に個体数を増やしている。

アイアイは順調に繁殖を続けてきたが、今後の血統の更新のため、米サンディエゴ動物園より新たなオスの個体「ヒッチコック」を導入した。また、国内における稀少種の繁殖に寄与するために、クロサイやマレーグマ、オグロヅルなどの上野生まれの個体を、他の動物園に送り出している。

【教育普及・催物等】

稀少野生動物であるジャイアントパンダ保護の重要性について広めようと、ジャイアントパンダ来園と同時に設立された「ジャイアントパンダ保護サポート基金」をPRするイベントなどを、地元団体などとの協力により多数行うとともに、基金を活用した普及活動やジャイアントパンダ飼育環境の向上に努めた。

恒例となった「真夏の夜の動物園」では「手をつなごう、子供も大人も動物も」と題して各種のチャリティイベントを行い、義援金を東日本大震災の被災地に送った。

両生爬虫類館では前年度から継続していた特設展「まもる」を12月で終了し、新たに食性をテーマにした特設展「たべる」を開始した。また、サル山の80周年を記念して各種のイベント・特設展示を開催した。

様々な教育普及プログラムを有効に活用し、学校教育との連携を深めるために、新たに「教育活用ガイドブック」を作成した。

3月20日に開園130周年になるのを記念し、開園記念日に先立つ3月18日に「希望」と題し、動物園・水族館の持続可能性を考える講演会および鼎談を行った。これを皮切りに1年間、毎月テーマを定めた記念事業を実施していく予定である。

3. 多摩動物公園

【飼育・繁殖】

当年度も引き続き、飼育展示・繁殖の充実に努めた。3年ぶりのコアラの繁殖をはじめ、チーター、ユキヒョウ、モウコノウマ、グレビーシマウマ、マレーバク、アミメキリン、シロオリックス、ニホンコウノトリ等、希少な動物種の繁殖に成功した。中でもチーターの2例の繁殖では8頭が生まれ、その内の1頭は、非常に希少なキングチーターと呼ばれる劣性遺伝による模様の変異個体で、国内初の誕生例となった。また、動物交換等によりシマオイワラビー、オグロヅル、アオバナワライカワセミの新規展示を開始したほか、ゲンジボタルについては、地域個体群を導入し、湧水を利用し整備を進めている園内水路に定着を目指した試験放流を実施した。

さらに、キリンの飼育では、当園で8月に生まれた個体を、母親がうまく育てなかったため、完

全人工哺育の実施と、群れ入れに初めて成功した。キリンの群れ飼育をしている施設で、このような成功事例は国内でほとんど例がない。

【保全活動】

保全対象種の繁殖に努め、トキ、ニホンコウノトリ、クロツラヘラサギ等の繁殖に継続して成功している。このうち、繁殖に成功したトキ5羽を佐渡トキ保護センターへ搬出した。また EIA 法による糞中ホルモン測定を実施し、シャモア等の妊娠判定やトキ、ツシマヤマネコの繁殖生理の解明に役立てている。DNA 解析技術を用いた鳥類・哺乳類の性判別を、計 85 種について実施。東京の野生メダカの地域個体群の解析や、マイクロサテライト解析によるカンガルー類の父子判定についても実施した。

希少動物の保護繁殖活動の拠点として、都立動物園各園の調整や情報収集・調査研究を行った。また域外保全活動の重要性が増すなか、絶滅の危機にある鳥類において飼育下繁殖技術の一層の向上を目指し、保全フォーラム 2011「希少鳥類の保全」(10月)を開催、多くの参加者との技術・情報交換の場となった。

【教育普及・催物等】

教育普及事業・イベント関係では、当年は国連が定めた「国際森林年」であることから、多摩丘陵の貴重な緑の一角をなす園内と隣接する都立七生公園をフィールドとして「雑木林に住む身近ないきものたち」と題した観察イベントを実施した。アカネズミの捕獲や、野鳥や朽木にすむ昆虫の観察をとおして、自然との関わりを考えた。

8月に実施した夜間開園「サマーナイト@Tama Zoo」では、キャッチフレーズを「一キャンドルナイトの動物園」とし、廃油ろうそくや節電に配慮した照明での催しとなった。また3年目となる「サイエンズ・カフェ」は「動物園の仕事、昆虫から動物の移動まで」をテーマとし、身近に飼育係と語り合える場として参加者の評価は高く定着しつつある。

新たな催しである体育の日にちなんだ「多摩 ZOO 体育大会」は、動物たちの身体能力の高さを学び、自らも垂直跳び、幅跳び、握力などの体力測定をする体験イベントとして好評だった。また、冬の動物の楽しみ方として「アジアの山岳へ GO」と題し、寒さに強く元気なユキヒョウやレッサーパンダ等の動物を壁新聞やクイズラリー、リレートークで紹介し、携帯待受写真のプレゼントなどをおこなった。

大学や学会との連携では、講演会「野生動物のお医者さん」(野生動物医学会)、「地球のいのち、野生との共存」(日本生命科学大学)、「多摩の魅力発信講座」(首都大学東京)を実施した。

4. 葛西臨海水族園

【飼育・繁殖】

南極の魚類「オセレイテッド アイスフィッシュ」は、脊椎動物で唯一、血色素ヘモグロビンをもたないため血液が無色透明な特徴を持つコオリウオの仲間である。国内の研究者等の協力を得て収集し、8月24日から南極洋の水槽で展示を開始した。同種の飼育展示は世界初となった。

前年度上野動物園より移動したオウサマペンギンが繁殖に成功(8月15日孵化)。公開前に雛の命名募集を行い、11月19日に「ソラ」と命名し公開を開始した。また飼育している他の鳥類(ペンギン3種、海鳥2種)も全て繁殖に成功した。水族園で飼育している東京産の両生類のうち、トウキョウサンショウウオ、ニホンアカガエル、シュレーゲルアオガエル、ツチガエ

ルを繁殖させ、カエル類については繁殖個体の展示を行った。

【保全活動】

前年度に引き続き野生生物の保全活動として、井の頭自然文化園及び多摩動物公園と共同してイモリやメダカの調査を継続的に行った。「東京めだか」生息の可能性が高い場所ではメダカを採集しDNA分析調査を実施した。「身近にいた水辺の生き物 いまとこれから」と題した講演会を井の頭自然文化園とともに開催し、イモリやカエル、里地の生き物の危機的な現状や保全の事例について講演し、啓発活動を行った。

【教育普及・催物等】

アイスフィッシュの公開に合わせ、10月に同魚類の研究者を講師に招き「南極に暮らす生き物～極低温への適応～」の講演会を実施した。また3月には「東京湾奥に生息するトビハゼの現状」と題した講演会を行った。

レクチャールームで開催する企画展では「東京湾にも深海ギョ!?!」、「博物画に観るエビとカニの美～杉浦千里が描いた海の生き物」、「江戸前の海～二枚貝から見た東京湾～」と題した展示を行い、開催告知のポスター作製や広報活動を展開し誘客喚起を行った。また、3月には渚の生物展示エリアの「しおだまり」水槽を補修し、使用開始に合わせて特設展「体験!海の生き物」を開催した。

他機関と連携した催しや調査も実施した。水族園の展示、活動等の事業紹介や来園動機につながる情報発信の場として、「移動水族館」を調布飛行場等において実施し、江戸川区金魚祭りにも出展した。また、「Tokyo Visit Zooキャンペーン」の一環として、(公財)東京都公園協会と連携し、「春の隅田川下りと葛西臨海水族園の夕べ」を行った。4月は茨城県自然博物館の協力により企画展「藻場(もば)・海のゆりかご～海藻たちのワンダーランド～」をレクチャールームで開催し、3月にはアクアマリンふくしまとの共同研究として、ROV(自走式水中カメラ)を用いた東京湾外湾の深海底調査を行った。

5. 井の頭自然文化園

【飼育・繁殖】

前年度から展示を開始したキュウシュウノウサギが繁殖に成功した。また、ノウサギとニホンキジの混合展示を実施し、日本産動物の展示の充実を図った。長期間オスの単性飼育であったニホンカモシカでは、新たにメスを導入して繁殖のためのペア展示を実現した。水生物園では前年度に引き続きカイツブリやカリガネ、オシドリ等の希少種の繁殖に成功した。

国内最高齢のアジアゾウ「はな子」の飼育管理を安全に行うため、これまでの直接飼育から柵越しに動物と接する準間接飼育に飼育方法を変更した。また、同時に開始したターゲットトレーニングにより、管理レベルの水準維持に努めた。

和鳥舎のオオタカ除け二重網を撤去し、度重なるヘビによる食害も防止可能な目の細かい金網に変更し、見やすく飼育動物の安全を確保できる施設に改善した。また、旧リス放飼実験場を「いきもの広場」としてさまざまな小動物が生息可能なビオトープに整備した。

東京都環境局の所管する保護個体を積極的に受入れ、保護事業に協力するとともに展示の充実を図ったほか、園内で捕獲されたアオダイショウのペア展示を実施し、飼育繁殖した仔ヘビ

を特設展で展示した。

【保全活動】

ズーストック種であるツシマヤマネコは、前年度環境省対馬野生生物保護センターと福岡市動植物園からオスを導入してつくった新たな2ペアについて、環境省からの依頼を受け、自然繁殖とともに電気刺激による精液採取や人工授精を試みる人工繁殖の準備を進めた。

両生類の域外保全では、トウキョウサンショウウオ、ツチガエルの飼育繁殖を継続的に行い、アズマヒキガエルについても飼育繁殖に成功した。アカハライモリの域内外保全活動を継続して実施した。この活動に関連する特設展を開催するとともに、葛西臨海水族園と共同で講演会を実施した。

【教育普及・催物等】

小さい子どもが楽しみながら参加できるオリジナルクイズラリー（日本の動物と妖怪、どうぶつえん龍伝説等）、中学生以上を対象にした専門的な内容の講演会（野生動物のための獣医師の仕事、身近にいた水辺の生き物等）など、年間を通して大人から子どもまでが学べるプログラムを実施した。

都立野川公園での「親子で川遊び」や園内の林やいきもの広場での「身近ないきもの探検」、井の頭池をテーマにした「親子で井の頭池たんけん」など、身近な自然体験につなげる観察会を実施した。

企画展としてはげっ歯類をテーマにした「ちゅうげっ歯類展」、動物の不思議を楽しみながら体験できる「ワンダーハット・リターンズ」、イモリをテーマにした「いもり学入門」など、体験型展示を盛り込んだ魅力的な展示を開催した。

地域との連携としては、日本獣医生命科学大学と多摩動物公園との3施設連続講座「野生との共存」、対馬市との「ヤマネコミニ講座」、「対馬体験ツアー」などを実施したほか、武蔵野市の環境フェスタや地域コミュニティーセンターの催し、三鷹市の三鷹国際交流フェスティバルや三鷹ネットワーク大学などへ参加した。

彫刻館では秋に「文化園コンサート OTO NO MAHOU@ZOO」と題して、「サキタハジメのこぎり音楽コンサート」、「高田蓮のどうぶつえんライブ」を開催した。

また初めての試みとして、障害をもつ子どもとその家族を閉園後の動物園に招待する国際的な活動「ドリームナイト・アット・ザ・ズー」を開催した。

Ⅱ. 事業実績

〔1〕 動物飼育及び展示業務

1. 展示動物の収集・管理

(1) 動物収集業務

国内外の飼育動物等の情報収集に努め、動物交換、共同繁殖のための動物貸借（B L：ブリーディングローン）、動物購入等を積極的に行った。

【主な収集動物】

園名	種名	数量	区分	摘要
恩賜上野動物園	アイアイ	1	交換	サンディエゴ動物園
	ホッキョクグマ	1	購入	イタリア ファサーノ動物園
	ゼニガタアザラシ	2	B L	小樽水族館 釧路市動物園
	アカカワイノシシ	2	借受	よこはま動物園
	エゾシカ	1	譲受	釧路市動物園
多摩動物公園	シマオイワワラビー	4	交換	福岡市
	コアラ	2	B L	埼玉県こども動物自然公園 神戸市立王子動物園
	カワネズミ	2	採集	東京都奥多摩市 東京都あきる野市
	ダチョウ	2	B L	京都市動物園
	アオバネワライカワセミ	2	交換	横浜市金沢動物園
葛西臨海水族園	クロマグロ	120	購入	大洋A&F
	キンチャクダイ	2	採集	神奈川県北川
	オセレイテッドアイスフィッシュ	2	譲受	日本水産株式会社
	イトヒキアイトラギス	2	借受	JAMSTEC
	ハナデンシャ	2	譲受	長崎ペンギン水族館
井の頭自然文化園	ニホンアナグマ	1	交換	佐世保市石岳動植物園
	マーラ	2	交換	那須どうぶつ王国
	クロゾル	1	譲受	名古屋市東山動物園
	ハヤブサ	5	移管	東京都環境局
	ヒバカリ	2	採集	園内

(2) 動物管理業務

動物台帳の管理を適正に行ったほか、国内外における稀少種血統登録への参画や国際種情報システム機構 (International Species Information System) への加盟により、動物管理事務の強化を図るとともに、持続可能な個体群管理に向けた取組を進めている。

【展示動物飼育数】(平成24年3月31日現在)

園名	類	目	科	種	点	備考
上野	哺乳類	13	55	125	1,115	
	鳥類	20	65	195	808	
	は虫類	6	32	92	325	
	両生類	2	17	40	356	
	魚類	7	9	10	313	
	無脊椎動物	1	1	1	50	
	計	49	179	463	2,967	
多摩	哺乳類	10	29	65	584	
	鳥類	17	30	102	992	
	は虫類	2	6	9	18	
	両生類	2	2	2	266	
	魚類	2	2	12	61	
	無脊椎動物	30	71	153	35,380	昆虫網膜翅目の社会性昆虫1科2種3群を含む
	計	63	140	343	37,301	
葛西	哺乳類	0	0	0	0	
	鳥類	2	2	6	261	
	は虫類	1	3	4	36	
	両生類	2	6	11	275	
	魚類	23	118	485	16,721	
	無脊椎動物	67	205	610	67,422	
	計	95	334	1,116	84,715	
井の頭	哺乳類	8	17	30	634	
	鳥類	13	27	92	387	
	は虫類	2	5	10	40	
	両生類	2	8	14	479	
	魚類	9	13	47	2,674	
	無脊椎動物	8	14	22	580	
	計	42	84	215	4,794	
合計					129,777	

2. 飼育展示・調査研究

(1) 日常飼育業務

動物の健康と飼育環境管理を適正に行い繁殖に努めるとともに、創意工夫により、動物の特性を引き出すための展示改善を積極的に行った。

① 主な繁殖動物

園名	動物名	出産・孵化数				備考
		オス	メス	不明	計	
上野	マレーグマ	1			1	
	コビトカバ		1		1	
	ツチブタ		1		1	
	オグロゾル		1		1	
	ニシアフリカコガタワニ			1	1	
多摩	コアラ		1		1	
	ユキヒョウ	1	2		3	
	チーター (キングチーター含む。)	3	4	1	8	
	マレーバク	1			1	
	シロオリックス		1		1	
葛西	オウサマペンギン			1	1	
	イワトビペンギン			4	4	
	サケビクニン			200	200	
	ロックサッカー			30	30	
	スポッテッドジョーフィッシュ			80	80	
井の頭	ヤクシカ	2	3		5	
	キュウシュウノウサギ		1	3	4	
	ニホンリス	20	17	5	42	
	カイツブリ	2	2		4	
	トウキョウサンショウウオ			8	8	生育数

② 主な展示改善

園名	主な展示改善の件名	内容
恩賜上野動物園 合計20件	ホッキョクグマとアザラシの海における新展示	展示提案により展示施設を新設。ホッキョクグマやアザラシが水中で見せる行動や頭上を歩く姿などを様々な角度から観察できるようにした。
	新レッサーパンダ舎での展示開始	園内の樹木を活用してレッサーパンダの展示場を設け、いそっぷ橋から樹上のレッサーパンダを見ることができるようにした。

園名	主な展示改善の件名	内容
	カピバラの新展示場	子ども動物園にプール付きの展示施設を新設し、水辺で暮らすカピバラの行動を間近で見やすく観察できるようにした。
多摩動物公園 合計18件	オランウータン放飼場へのやぐらの新設	給餌器「豆の木」が付属するやぐらを新設。詰め込まれたピーナッツを木の枝や指をたくみに使って取り出す姿を観察できるようにした。
	ゾウへの給餌の工夫	ゾウに高い場所から給餌し、ゾウが長い鼻を巧みに使い採食する様子を観察できるようにした。
	シロテテナガザルの新規展示	新規導入したシロテテナガザルの展示を開始した。施設内にはロープを張りブラキエーションが見られるようにした。
葛西臨海水族園 合計11件	「しおだまり」水槽のリニューアル	しおだまり水槽をリニューアルした。数多くの生物をより見やすく雨天時でも観察できるようになった。
	トゲトサカの新規展示公開	飼育が非常に困難なトゲトサカを水槽内の水の流れや固定法などの工夫を積み重ねた結果、展示することに成功した。
	オセレイテッドアイスフィッシュの新規展示	世界初、南極海に生息するオセレイテッドアイスフィッシュ（ジャノメコオリウオ）の生きた姿を展示した。
井の頭自然文化園 合計11件	小獣舎の改修	小獣舎の改修工事に際し、コンクリート壁を網またはガラスに作り替えるよう提案し、小さい子供にもよく見えるよう改善した。
	和鳥舎の補修と解説板の設置	オオタカ除けの二重網を撤去し、へビの被害にも対応した目の細かい金網に変更。見やすさと安全性を確保したほか、併せて鳥の羽や卵を使った解説板を新設した。
	カピバラ舎への解説用ホワイトボードと歯の標本の設置	カピバラ舎に解説用のホワイトボードと歯の比較標本を設置。飼育担当者からの新規情報や解説を伝えることができた。

(2) 研究成果の発表

動物園で得られた野生動物や教育普及活動に関する情報や研究成果等について、研究会等で積極的に発信した。

① 恩賜上野動物園 (合計12件)

発表内容	担当	摘要
小獣類の異常分娩症例	吉澤 円	第144回関東東北ブロック動物園技術者研究会 (かみね動物園)
ニホンツキノワグマの人工冬眠下での繁殖	野島大貴	第59回動物園技術者研究会 (円山動物園)
ジャイアントパンダ来園の経過と現状	阿部展子	2011年ジャイアントパンダ繁育技術委員会 (中国・長沙)
マレーグマにおける発情に伴う行動パターンの変化と糞中ホルモン動態との関係	野田瑞穂	第17回日本野生動物医学会大会 (東京農工大学)
スバルバルライチョウにおける人工授精の試み	石井淳子	第2回ライチョウ域外保全会議 (富山市ファミリーパーク)

② 多摩動物公園 (合計12件)

発表内容	担当	摘要
チーターの繁殖について	野本寛二	第59回動物園技術者研究会 (札幌市円山動物園)
The role of zoos in animal conservation and climate change	富田恭正	韓国環境部国立生態院主催国際シンポジウム
Husbandry management and breeding of rare species; Cheetahs at Tama Zoological Park	唐沢瑞樹	SEAZA 19 th Annual conference 2011 (タイ・パタヤ)
骨標本から読み取るカンガルー病の病態	杉森理	第142回関東東北ブロック動物園技術者研究会(横浜市立野毛山動物園)
糞中の性ステロイドホルモン測定によるグレビーシマウマの妊娠判定	下川優紀	第17回日本野生動物医学会大会 (東京農工大学)

③ 葛西臨海水族園 (合計6件)

発表内容	担当	摘要
地先海域定期調査での出現生物の展示と普及活動について	田辺信吾	平成23年度関東・東北ブロック水族館飼育技術者研究会 (しながわ水族館)

発表内容	担当	摘要
水生生物の多様な生息環境を展示する試み	小木曾正造	第4回水族館シンポジウム (東大海洋研)
ファインスポッテッドジョーフィッシュの展示について	雨宮健太郎	建設局技術業務体験発表会
ナンキョクオキアミ漁で混獲されたオセレイテッドアイスフィッシュの輸送と展示について	多田 論	国立極地研究所シンポジウム
カンクティスコ魚類（硬骨魚類、ノトセニア亜目）の採集と輸送	河原直明	第56回水族館技術者研究会 (しものせき水族館)

④ 井の頭自然文化園（合計3件）

主な実績のテーマ	担当	摘要
アムールヤマネコの繁殖	佐々木真一	ヤマネコシンポジウム (日本獣医生命大学)
ナベヅル用落ち葉プールの製作について	川手美咲	第144回関東東北ブロック動物園技術者研究会（かみね動物園）
体験する動物園ー特設展示“ワンダーハット”を通して	天野未知	博物館研究 Vol.46、No.6

(3) 共同研究

大学や研究機関と協力し、動物学、獣医学等の学術的な見地から共同研究を進めた。

提携先	提携園	研究テーマ
岐阜大学応用生物科学部	恩賜上野動物園	希少動物の保全繁殖
京都大学野生動物研究センター	恩賜上野動物園	飼育ニホンザルのDNA解析及びデータベース作成
岐阜大学	多摩動物公園 井の頭自然文化園	・希少動物の飼育下繁殖に向けた糞中性ホルモン測定 ・多摩動物公園における希少動物の性ホルモン分析技術の推進
横浜市環境創造局繁殖センター	多摩動物公園	希少動物の保全に関わる試験研究
東京都健康安全研究センター	多摩動物公園	サル類の腸管寄生原虫に関する研究（検査・駆除対策）

提携先	提携園	研究テーマ
東京農業大学	多摩動物公園	食虫目動物の保全繁殖に関する共同研究
麻布大学	多摩動物公園	メタゲノム解析によるオランウータン等の健全な腸内フローラの解析および新鮮な糞便からの生菌分離と菌種の同定に関する研究
日本大学生物資源科学部	葛西臨海水族園	水生生物における包括的魚病診断調査及び防疫法の確立
東京大学海洋研究所	葛西臨海水族園	クロマグロの孵化、成長、生残に及ぼす温度影響に関する共同研究について
国立極地研究所	葛西臨海水族園	<ul style="list-style-type: none"> ・南極海に生息する魚類の繁殖および摂餌成体に関する共同研究 ・フンボルトペンギンの潜水活動と気温の関係についての研究
独立行政法人 森林総合研究所	葛西臨海水族園	イモリの保全及びその生態学的研究
北海道大学大学院水産科学院	井の頭自然文化園	ニホンイモリの保全生態学的研究
	葛西臨海水族園	繁殖期におけるエトピリカおよびウミガラスの餌選択戦略の解明についての研究
明治大学農学部	葛西臨海水族園	<ul style="list-style-type: none"> ・フンボルトペンギンの親子及び家系関係に関する研究 ・国内飼育フンボルトペンギンの遺伝的な近縁関係の解明における研究
東海大学医学部	葛西臨海水族園	ペンギン類の遺伝子解析に関する研究
東邦大学	葛西臨海水族園	葛西臨海水族園周辺感潮域干潟生物多様性調査共同研究
ふくしま海洋科学館	葛西臨海水族園	ROV（自走式水中カメラ）を用いた深海底の共同調査研究
のとじま臨海公園水族館	葛西臨海水族園	キュウリエソの採集、飼育に関する基礎研究

提携先	提携園	研究テーマ
電力中央研究所	葛西臨海水族園	水族館向け脱室技術開発に関する共同研究
日本獣医生命大学 獣医臨床繁殖学教室	井の頭自然文化園	希少野生ネコ科動物における人工繁殖技術の研究
日本獣医生命大学 野生動物学教室	井の頭自然文化園	飼育下におけるツシマヤマネコの発情行動とホルモンに関する研究
東北大学大学院生命科学研究所	井の頭自然文化園	ミズグモの糸の組成解析に関する研究

(4) 飼育展示・教育普及研究会の開催

園内及び4園相互での情報交換と共有化を積極的に進めるとともに、研究発表等に積極的に参加することによる職員の能力向上の機会を設けるため、各園で飼育展示・教育普及担当者による研究会を毎月開催した。

3. 動物病院業務

飼育職員と連携して病気等の予防策を講じるとともに、異常の早期発見に努め、適切な治療を行った。また、検疫業務、病理解剖、検体の保存等を行った。

【診療件数及び検疫件数】

園 別	年間診療件数		年間検疫件数	
	治療	死亡	種数	頭数
恩賜上野動物園	19,498	165	113	385
多摩動物公園	9,478	47	44	78
葛西臨海水族園	685	2	0	0
井の頭自然文化園	6,644	64	37	88

※葛西については、上野の動物病院獣医師が実施。

4. 施設維持管理・園内サービス

(1) 園内施設・設備の維持管理

① 定常的維持管理

施設や設備を適切に保守し、利用者の安全と快適性を確保するために、以下の園内施設の維持管理業務を実施するとともに、震災の影響による夏の節電では最大使用電力の15%削減に取り組んだ。

園名	主要施設	主要維持管理業務
恩賜上野動物園	<ul style="list-style-type: none"> ・敷地面積：143千㎡ ・パンダ舎、ホッキョクグマとアザラシの海、クマ舎・ゾウ舎、アイアイのすむ森等 ・両生爬虫類館 ・動物園ホール ・不忍池 	<ul style="list-style-type: none"> ・設備更新（水処理、ボイラー、空調、暖房 他） ・補修工事（動物舎、漏水、排水、園内不陸 他） ・設備保守（機械、水処理、放送、動物脱出防止柵 他） ・不忍池水質管理 ・設備点検 ・保護管理（植込地、花壇） ・危険樹点検対応 他
多摩動物公園	<ul style="list-style-type: none"> ・敷地面積：601千㎡（含む七生公園） ・オランウータン舎、コアラ館等 ・ライオン園 他 ・昆虫生態園 ・丘陵地 	<ul style="list-style-type: none"> ・設備更新（水処理、ボイラー、空調、暖房 他） ・補修工事（動物舎、漏水、排水、園内不陸 他） ・設備保守（機械、水処理、放送、動物脱出防止柵 他） ・設備点検 ・枯損木処理 ・保護管理（植込地、芝生地、花壇） 他
葛西臨海水族園	<ul style="list-style-type: none"> ・敷地面積：86千㎡ ・水槽数：47 ・マグロ水槽（2200t）、ペンギン池 他 ・ポンプ（水処理用234台、給排水用56台） 	<ul style="list-style-type: none"> ・設備補修（冷凍機、水処理 他） ・施設補修（水槽、漏水、排水、園内不陸 他） ・設備保守（中央監視、水処理、展示システム、排水処理、オゾン設備 他） ・設備点検 ・保護管理（植込地、芝生地、花壇） 他
井の頭自然文化園	<ul style="list-style-type: none"> ・敷地面積：116千㎡ ・大放飼場 ・彫刻館 ・リスの小径 ・熱帯鳥温室 ・資料館 	<ul style="list-style-type: none"> ・設備更新（水処理、ボイラー、空調、暖房 他） ・補修工事（動物舎、漏水、排水、園内不陸 他） ・設備保守（機械、水処理、放送 他） ・設備点検 ・保護管理（植込地、花壇） ・危険樹点検対応 他

② 集中的維持管理

園路補修や地球温暖化対策などを行うとともに、動物舎、放飼場の集中的な修繕を行った。

園名	No.	修繕施設	概要
上野	1	放飼場管理通路	走禽舎トップライト補修
	2	園内各所	園路補修
	3	動物舎屋外展示施設	塗装補修
多摩	1	園内照明灯	コアラ下休憩所、猛禽舎ほか照明設備補修
	2	転落防止	アフリカ園通路ほか園内各所柵補修
	3	地球温暖化対策	マレーバク舎屋上緑化
	4	動物舎補修	サイ舎室内展示室床面補修
	5	放飼場補修	シャモア舎放飼場法面補修
葛西	1	計装設備	2方弁装置補修
	2	送風機	循環ファンほか修繕
	3	水槽	アクリルパネルほか修繕
	4	照明器具	水槽照明補修
	5	地球温暖化対策	無料休憩所ツル植物植栽
井の頭	1	動物舎補修	野鳥の森補修
	2	広場補修	遊具補修
	3	園地	支障樹木剪定・伐採

(2) 園内の保安及び環境美化

① 園内巡回警備

巡回警備による整理・誘導、防犯等、入園者の安全に配慮して実施した。繁忙期には増員により対応した。

② 園内清掃及び廃棄物搬出

園内美化を図り、園内の清掃及び収集したゴミ等の廃棄物を園外へ搬出した。また、搬出した寝藁等は専門施設においてリサイクルし、肥料化した。

(3) 災害時対策

上野動物園において、地震でサイ舎放飼場の壁が崩れ、クロサイ1頭が脱出したという想定により、猛獣脱出対策訓練を2月に実施した。また、火災発生時を想定した飼育施設からの脱出訓練を、消防署立合いの下で実施し検証を行った。

台風や大雨等の気象警報発令時等には、巡回点検や職員の事務所待機を行い災害時に備えるとともに、被害復旧対応を行った。

(4) 入園券の売改札及び利用案内・園内サービス

① 入園券の売改札

入園券の売改札、年間パスポートの販売を行った。

【入園者数】

(単位：人)

区 分		上野	多摩	葛西	井の頭	合計	摘 要	
有 人	大 人	2,138,350	356,119	562,988	322,364	3,379,821		
	中学生	53,268	1,542	8,395	512	63,717		
	65歳以上	189,764	31,634	35,303	36,776	293,477		
	計	2,381,382	389,295	606,686	359,652	3,737,015		
料 団 体	大 人	181,471	60,675	98,776	12,674	353,596	20人以上	
	中学生	1,755	75	608	46	2,484	〃	
	65歳以上	14,238	998	8,880	1,235	25,351	〃	
	計	197,464	61,748	108,264	13,955	381,431		
小 計		2,578,846	451,043	714,950	373,607	4,118,446		
無 料	個 人	小学生以下	1,531,105	261,439	535,429	223,121	2,551,094	
		中学生	32,571	5,338	25,114	5,468	68,491	都内在住在学习
		計	1,563,676	266,777	560,543	228,589	15,637,823,685	
	団 体	幼 児	89,291	64,977	31,722	23,744	209,734	
		小学生	74,398	55,773	46,041	16,033	192,245	
		中学生	66,614	3,353	12,354	450	82,771	
		計	230,303	124,103	90,117	40,227	484,750	
	特免等		119,018	26,692	39,661	24,453	209,824	身体障害者
	その他		215,418	57,729	71,071	56,744	400,962	無料開園日
	小 計		2,128,415	475,301	761,392	350,043	3,715,151	
合 計		4,707,261	926,344	1,476,342	723,650	7,833,597		

【年間パスポート販売状況】

園 名	販売実績	摘 要
恩賜上野動物園	19,091 枚	一般2,400円、65歳以上1,200円
多摩動物公園	5,748 枚	〃
葛西臨海水族園	2,124 枚	一般2,800円、65歳以上1,400円

井の頭自然文化園	10,382 枚	一般1,600円、65歳以上 800円
合 計	37,345 枚	

② 有料施設等の占用等の申請受付と料金徴収

園内での写真撮影や集会所の使用申請の受付事務と入園料、使用料、占用料の徴収及び東京都への納付事務を行った。

【入園料金の徴収】

園 名	収 納 額	摘 要
恩賜上野動物園	1,401,108,900 円	大人600円、中学生200円、65歳以上300円
多摩動物公園	233,377,840 円	〃
葛西臨海水族園	458,602,230 円	大人700円、中学生250円、65歳以上350円
井の頭自然文化園	122,101,500 円	大人400円、中学生150円、65歳以上200円
合 計	2,215,190,470 円	

【占用料・使用料の徴収】

園 名	収 納 額	摘 要
恩賜上野動物園	2,432,634 円	占用料（写真撮影等）
多摩動物公園	368,298 円	〃
葛西臨海水族園	107,800 円	〃
井の頭自然文化園	472,696 円	占用料・使用料（資料館・童心居）
合 計	3,381,428 円	

③ 利用案内・園内サービス

園内における利用者案内、迷子相談、園内放送、救急救護、身障者用車椅子の貸出等のサービスや拾得物・遺失物対応を実施したほか、園外からの電話による問い合わせに対応、園内案内図、案内板の更新を行った。また、GWや春休みの繁忙対策として、上野、多摩で仮設トイレを設置した。

東京動物園ボランティアーズのサービスガイドグループとの協働により、園内案内サービスや園内催物を実施した。

【園内利用案内】

園名	迷子	放送	救護	車椅子	遺失物届	拾得物届
上野	1,221	5,391	622	1,639	683	4,382
多摩	135	3,548	449	334	605	3,533
葛西	264	1,825	216	599	521	2,926
井の頭	151	225	338	90	291	951
合計	1,771	10,989	1,625	2,662	2,100	11,792

(5) 利用促進・PR活動

ホームページや様々な印刷物、広告物等により、利用促進活動を行った。また、都立動物園・水族園の魅力とサービス向上を目的とする「Tokyo Visit Zoo キャンペーン」のため、東京都と協力しながら、イベントの実施、開園時間の延長と開園日数の拡大など、様々な取組を行った。

① 利用促進・PR

事項	摘要
ホームページ	<ul style="list-style-type: none"> ・ホームページ「東京ズーネット」をリニューアル、イベントなどタイムリーな情報に、より分かりやすくアクセスできるようにした。 ・上野動物園のジャイアントパンダの魅力を伝えるホームページ「UENO-PANDA.JP」において、飼育状況や豆知識などを発信、併せてジャイアントパンダ保護サポート基金についても広くアピールした。 ・都立動物園の最新情報を届けるメールマガジン「ズー・エクスプレス」を配信、ファンに向けて4園の最新情報を伝えた。
広告物	<ul style="list-style-type: none"> ・4園共通の春休みの集客に向けて、電車内ディスプレイ広告「JRトレインチャンネル」（山手線、中央線快速、京浜東北線・根岸線、京葉線）の放映及びJR駅舎内ポスター広告掲出（63駅70か所）を実施した。 ・車内広告（4園共通 2,160枚）、駅貼りポスター（上野：281駅、多摩123駅、葛西101駅、井の頭70駅）、駅サインボード広告（井の頭3件）を掲示した。 ・上野では、新施設オープンや繁忙期に向けて、駅貼ポスターと合わせて都バス営業所（19か所）にもポスターを掲示した。 ・多摩では、年間パスポートの販売促進に向けて、正門上横断幕、京王路線バス中吊広告（500枚）を掲示した。 ・葛西では、春の企画展の周知促進に向けて、電車内ディスプレイ広告

事 項	摘 要
	<p>「JRトレインチャンネル」(山手線、中央線快速、京浜東北線・根岸線、京葉線)及び「東京メトロ・メトロビジョン」の放映を実施した。</p> <p>・井の頭では、開園記念日等の催し物の周知促進に向けて、新聞折り込み広告(120,000部)を実施した。</p>
ダイレクトメール	幼稚園・保育園、学校、旅行代理店、企業健康保険組合等 (4園共通 11,426件)
そ の 他	<ul style="list-style-type: none"> ・繁忙期における休園日の臨時開園(上野15日、多摩7日、葛西10日、井の頭6日)、開園時間延長(上野22日、多摩13日、葛西16日、井の頭6日)を実施した。 ・(社)日本玩具協会が主催する「東京おもちゃショー」(6月18日、19日)に4園合同で参加、パネル展示により都立動物園・水族園の魅力を発信した。 ・「Tokyo Visit Zooキャンペーン」の一環として、鉄道事業者との共催による「第2回電車でまわろう!動物園・水族園スタンプラリー」及び4園の冬の魅力を伝える企画として「期間限定 マル得 冬の都立動物園・水族園めぐり」を開催した。 ・外国人観光客向けに、都立動物園・水族園紹介パンフレット(英語・中国語[繁体・簡体]・韓国語および日本語)を作成した。

(6) 広報広聴

園内動物の繁殖や催物等についての広報発表、取材対応のほか苦情や意見への対応を行った。

① 主な広報発表

園 名	発表日	件 名
上 野	6月9日	11年ぶり!ベンガルヤマネコの赤ちゃんが生まれました
	7月14日	夏の夜の動物園 手をつなごう!子供も大人も動物も!
	9月22日	「ホッキョクグマとアザラシの海」オープン! 完成記念式典を行います
	3月13日	ホッキョクグマの新しい仲間が来園します!
	3月26日	ジャイアントパンダを同居させました
	その他、合計 35 件	
多 摩	7月14日	サマーナイト@TamaZoo キャンドルナイトの動物園
	7月26日	今年は5羽のトキが育ちました 平成23年繁殖結果報告
	7月28日	チーターが今年2回目の出産!!素敵な名前をつけて下さい。1頭は

園名	発表日	件名
		キングチーター
	10月27日	「大人のための動物園」参加者募集
	1月12日	コアラの赤ちゃん名前募集
	その他、合計44件	
葛西	6月9日	夏休み企画展「東京湾にも深海ギョ!?!」
	7月14日	2011年夏、「水辺の自然」がアツイ!!
	8月22日	世界初公開、無色透明な血液を持つ南極の魚!
	9月22日	累計入園者4,500万人達成!
	1月26日	春休み企画展「江戸前の海 二枚貝から見た東京湾」開催
	その他、合計28件	
井の頭	4月27日	ドリームナイト・アット・ザ・ズー IN 井の頭自然文化園
	7月14日	スタンプラリー「日本の動物と妖怪 part.3 東北編」
	11月24日	水生物館特設展示「メダカが教えてくれること」
	12月8日	資料館特設展示「Wonder Hut Returns どうぶつのふしぎがいっぱい」
	1月26日	講演会「人と共にくらす野鳥たち」
	その他、合計19件	

② 苦情・意見への対応

園内に設置した意見箱やホームページ「東京ズーネット」に寄せられた苦情・意見について、関係部署へ周知するとともに対応策を検討し、ベンチの増設、便器の洋式化、大型コインロッカーの設置など園内環境やサービス等の改善に努めた。

〔2〕野生生物保全業務

「野生生物保全センター」を都立動物園・水族園の野生生物保全活動の中心に位置付け、保全活動、情報収集、調査研究及び普及啓発活動を実施した。

項目	内容
動物園内における保全活動 (域外保全)	<p>① トキやニホンコウノトリ、日本産カエル類などの希少動物の繁殖に継続して成功している。また、オランウータン、ツシマヤマネコ、スマトラトラ等についてペアリングに取り組み、繁殖と系群保全に努めた。</p> <p>② 環境省の保護増殖事業に協力し、ツシマヤマネコ人工繁殖のため近似種でのシミュレーションを続けている。また、繁殖したトキ5羽を佐渡トキ保護センターへ搬出した。</p> <p>③ ライチョウ亜種の展示を上野新施設にて開始。多摩でも雌雄の飼育を開始した。また、飼育園館等で構成する「ライチョウ域外保全会議」を設立し、飼育繁殖技術確立に向け情報共有を進めている。</p>
フィールドにおける保全活動 (域内保全)	<p>① 多摩市のイモリ生息地において、生息状況調査を継続して実施し、その生態解明に努めるとともに、地域との連携・環境教育活動を推進した。</p> <p>② 野生のアカガシラカラスバトの糞から採餌植物を特定する目的で、小笠原自然文化研究所と連携し、飼育個体への植物種4種の採餌試験を実施した。</p> <p>③ 現地でオガサワラシジミの保全活動を行うNPO等を支援し、食草のオオバシマムラサキの管理等に努めた。</p>
生物学技術を活用した保全活動	<p>① DNA解析による性判別を鳥類・哺乳類計85種について実施。東京の野生メダカの地域個体群解析や、遺伝子解析装置を用いた希少鳥類の遺伝的多様性解析、アカカンガルーのマイクロサテライト解析による父子判定を実施した。</p> <p>② 人工授精技術を用いて自然交尾不能なソデグロゾルのペアから継続して有精卵を得た。また、哺乳類では採精試験や死亡個体からの精子回収によりシフゾウ、ワラルー等で凍結精液を作製した。</p> <p>③ EIA法による糞中性ホルモン測定を実施。シマウマ、シャモア等の妊娠判定やトキ、ツシマヤマネコの繁殖生理解明に役立てている。</p>
情報収集	CBSG（保全繁殖専門家グループ）年次総会やSEAZA（東南アジア動物園協会）総会などに職員を派遣し、情報収集に努めた。
調査研究	日本野生動物医学会大会で「糞中の性ステロイドホルモン測定によるグレビーシマウマの妊娠判定（ポスター発表）」ほかの発表を行った。
普及啓発活動	<p>① 多摩市の小学校と連携し校外学習の一環として、イモリの保全活動について普及啓発を行った（全3回）。</p> <p>② 保全フォーラム「希少鳥類の保全」を開催、(社)日本動物園水族館</p>

	<p>協会の協力を得て加盟園館職員対象及び学生対象の講座を行った。</p> <p>③ 小笠原父島及び母島にてアカガシラカラスバト保護活動の普及啓発を行う「あかぼっぼの日」の集いへ職員を派遣、域外保全活動状況について島民に紹介した。</p>
--	---

〔3〕教育普及業務

動物園・水族園での観察・学習などの体験が価値あるものになるよう、各種プログラムを開催し、動物や生息環境等の情報を伝えるとともに、教育機関との連携やボランティア団体との協働等により普及活動に努めた。

1. 身近に生息している野生動物に関する取組

国連が提唱する「国際コウモリ年」（2011～2012年）にちなみ、専門家による講演等を通じてコウモリの生態等に関する普及活動を行った。また、身近な野生動物である東京湾の生物に焦点をあて、企画展や講演会などによる情報発信を実施した。

6月には小笠原諸島が世界自然遺産に登録されたことから、都立動物園・水族園4園連携のもと、小笠原の野生生物をテーマとした企画展を同時期に開催し、生物多様性と保全活動に関して広くアピールした。

【各園の取組】

園 名	内 容
恩賜上野動物園	<ul style="list-style-type: none"> ・講演会「コウモリ夫婦の『世界のフルーツバットを見てみたい!』」（講師：大沢啓子氏）、「東京のコウモリたち 都会のコウモリ・島のコウモリ」、特別展「コウモリ展 吸血鬼なんかじゃないもん…」を開催し、多様なコウモリ類の魅力を紹介 ・夏季夜間延長時間に不忍池で野生のアブラコウモリの観察会を実施 ・企画展「あかぼっぼの棲む島・小笠原」において、上野動物園が中心となって取組んでいる希少種「アカガシラカラスバト（愛称：あかぼっぼ）」の生態や保全活動について紹介
多摩動物公園	<ul style="list-style-type: none"> ・企画展示「小笠原展 オガサワラシジミと固有の昆虫たち」においてオガサワラシジミの保全への取組と小笠原固有の昆虫を紹介 ・国連が定めた国際森林年にちなみ「雑木林に住む身近な生きものたち」を開催、園内の雑木林にすむネズミ類、野鳥、冬季の昆虫など身近な生きものたちとの関係を考えながら、実際の生態を観察

葛西臨海水族園	<ul style="list-style-type: none"> ・特設展示「小笠原展 海洋島とその海に暮らす生き物」を開催、小笠原諸島の海とそこに暮らす特徴的な海洋生物について紹介 ・企画展「東京湾にも深海ギョ!？」を開催、水族園の目の前に広がる身近な海、東京湾の“深海”の世界を紹介
井の頭自然文化園	<ul style="list-style-type: none"> ・ちいさな企画展「希少野生動物の保全とイエネコ対策 小笠原と対馬を例に」において、小笠原の希少な動物を紹介するとともに、保全していく上で重要なイエネコ対策について紹介

2. 園内プログラム

(1) 動物解説業務（園内ガイドツアー・団体指導ほか）

各園に配置した動物解説員により、一般来園者を対象とした園内ガイドツアー及び小学生等の団体を対象とした動物解説のほか、夏休み期間その他に特別企画等を実施した。

区 分	実 施 内 容	
1. 一般来園者へのガイド	内 容	テーマを設定し、園内を案内しながら動物の解説を行った。(1回約45分間)
	実施件数	上野292件、多摩192件、葛西571件、井の頭109件、4園合計1,164件
	参加者数	上野5,396人、多摩2,434人、葛西5,797人、井の頭1,274人、4園合計14,901人
2. 団体指導	内 容	団体の要望等を事前に調整の上、プログラムを実施した。特に学校団体については、学校教育と動物園との連携を図り、教育活動の一環として役立つプログラムを実施した。
	実施件数	上野325件、多摩182件、葛西160件、井の頭97件、4園合計764件
	参加者数	上野22,790人、多摩12,745人、葛西9,859人、井の頭5,757人、4園合計51,151人
3. 団体引率者への事前指導	内 容	課外授業や修学旅行引率のために事前来園する教員等を対象として、動物園における教育プログラムを提示・説明した。
	実施件数	上野352件、多摩836件、葛西177件、井の頭82件、4園合計1,447件
4. 特別企画	内 容	春夏休み期間を中心に、子供や親子連れを対象にクイズラリーやオリジナル観察シートを活用したセルフガイド、生物研究等の特別企画を行った。また、多摩では小学校を中心に教材の貸出しを実施した。

区 分	実 施 内 容	
	実施件数	上 野 生物研究4回、クイズラリー8回、サンデークイズ4回 多 摩 教材貸出640件、タイムリーガイド・フリーガイド89件、観察デー12回 葛 西 生物研究9回、カップル限定ツアー4回 井の頭 生物研究11回
5. 大人のための動物園・水族園	内 容	事前申し込みにより、「観察の仕方」をテーマにして行った。
	実施時期	上野11月・12月、多摩11月・12月・3月、葛西10月、井の頭11月
6. その他	各園の教育普及関係スタッフが連携し、観察会など各種普及活動における指導・企画展示用テキスト等を作成するとともに、動物園を教育活動の一環として役立てるための資料「教育活用ガイドブック」を制作した。また、上野・多摩・葛西で動物園のホットな話題を紹介するニュースレター（A4表裏・月1回配布）を制作した。	

(2) 動物相談室の運営

恩賜上野動物園、多摩動物公園内の動物相談所において、来園者及び電話・書簡による相談に応じた。

園 名	来 園	電 話	書 簡	計	摘 要
恩賜上野動物園	1,653	3,218	69	4,940件	飼育715 動物園1,432 生態1,405 保護192 鳥獣害232 その他1,444
多摩動物公園	675	769	24	1,468件	飼育413 動物園199 生態397 保護106 鳥獣害133 その他784
計	2,328	3,987	93	6,408件	

(3) 通年プログラム、企画プログラム、特別展・企画展の実施

① 通年プログラム

園名	内容
恩賜上野動物園	①キーパーズトーク（ニホンザルほか951件） ②モルモットのふれあい（通年実施） ③スタディシート（2種配布）
多摩動物公園	①キーパーズトーク（各月のテーマに沿って実施、359件） ②モルモットのふれあい（通年実施） ③スタディシート（16種配布） ④年間スタンプラリー（11/4から1年間）
葛西臨海水族園	①キーパーズトーク（マグロほか494件） ②スタディシート（27種配布） ③ボトルウォッチング（通年実施） ④スタッフトーク（月1～2回）
井の頭自然文化園	①キーパーズトーク（ツシマヤマネコほか89件） ②モルモットとのふれあい（通年実施） ③ダックさんにお弁当（月1回） ④スタディシート（1種配布）

② 企画プログラム

園名	内容
恩賜上野動物園	①春休み期間の催し（2011/3/26～4/5） ②飼育の日イベント（4/19） ③カバのフィギュア教室（4/16～17） ④真夏の夜の動物園（8/12～16） ⑤「ホッキョクグマとアザラシの海」オープン記念式典（10/26） ⑥東京文化財ウィークの催し（10/29～11/6） ⑦コモモ2歳誕生日企画（11/2～13） ⑧旅立つヒガシクロサイにメッセージを書こう（11/12～13） ⑨クリスマスイベント（12/24～25） ⑩新年イベント（1/2～3） ⑪「130年目の春休み」（飼育係による解説、スポットガイド他）（3/26～2012/4/5）
多摩動物公園	①被災した動物園・水族園応援イベント（4/1～12, 4/16～17, 6/4, 6/19, 7/3） ②飼育の日イベント（4/16～19） ③オランウータン「モリー」お別れ会（6/11） ④アムールトラ「アイ」「マオ」誕生会（7/10） ⑤サマーナイト@Tama Zoo（8/6, 7, 12, 13, 14, 20, 21, 27, 28）

園 名	内 容
	<ul style="list-style-type: none"> ⑥チーター命名式 (9/3) ⑦多摩ZOO体育大会 (10/10) ⑧東京文化財ウィークの催し (10/29～11/6) ⑨日野市ぐるっと！紅葉ウォーキング (11/26) ⑩コアラ出袋日予想ガイド&クイズ (11/26～28) ⑪クリスマスイベント (12/10～12/25) ⑫新年イベント (1/2～3) ⑬オランウータンのげんかつぎで願い事 (1/2～3/1) ⑭クラシックギターコンサート (3/25) ⑮飼育担当者によるトーク「キングチーター誕生からデビューまで」 (3/31)
葛西臨海水族園	<ul style="list-style-type: none"> ①飼育の日イベント (4/16～17) ②水辺の生き物クイズ&ウォッチング (4/29～5/1) ③がんばれ！アクアマリンふくしま (5/1～7/14) ④「かさりん体操」の時間 (6/5, 7/3, 9/4, 10/2, 11/6, 12/4, 2/5, 3/4) ⑤おいでよ！夏の葛西臨海水族園 (夏休福引大会、水族園生き物ランキングほか) (8/1～31) ⑥水族園生きものランキング (8/6～26) ⑦大空を泳ぐ「深海魚のぼり」 (8/6～9/19) ⑧水族園マスター (10/8～9) ⑨ウォッチングシートラリー (11/6～7) ⑩オウサマペンギン命名式 (11/19) ⑪キッズカレンダー2012配布 (11/26, 27) ⑫まつぼっくりツリー (12/12, 13, 15) ⑬新年イベント (1/2～4) ⑭バレンタイン企画「スイートツアー」 (2/18～19) ⑮MAREプログラム「魚をつくろう！」 (2/26) ⑯春の水辺を楽しもう「水辺の自然」ガイドツアー (3/20)
井の頭自然文化園	<ul style="list-style-type: none"> ①クイズでたんけんぶんかえん「日本にすむ動物」 (4/1～5) ②飼育の日イベント (4/17) ③69周年記念「ちゅうクイズラリー」 (4/29)、「ロックコンサート」 (5/17) ④文化園歴史探訪 (5/17～18) ⑤ドリームナイト・アット・ザ・ズー (6/11) ⑥日本の動物と妖怪スタンプラリーPart3東北編 (7/16～8/31) ⑦コンサート「OTO NO MAHOU@ZOO」 (10/2, 9, 16, 23, 30) ⑧「いきもの広場」オープン式典 (10/30) ⑨東京文化財ウィークの催し (10/19～11/6) ⑩辰年クイズラリー「どうぶつえん龍伝説」 (12/17～18)

園名	内容
	①新年イベント (1/2～3) ②アジアゾウ「はな子」65歳のお祝い会 (2/5)

③ 特別展・企画展

園名	内容
恩賜上野動物園	①「河馬博覧会 かば祭り in Ueno Zoo」(2011/2/15～5/8) ②「野間馬のふるさと展」(5/14～6/12) ③「あかぼっぼの棲む島・小笠原 (6/21～7/18) ④「マダガスカル ゴンドワナの落としもの」(7/20～9/30) ⑤「国際コウモリ年特別展『コウモリ展 吸血鬼なんかじゃないもん……』」(8/23～9/19) ⑥「動物アート展」(9/27～11/6) ⑦「サル山創設80周年記念パネル展」(10/8～30) ⑧「千石正一先生コレクション切手展」(1/11～2/27) ⑨「動物日本画展」(11/15～27) ⑩「両生爬虫類鑑 たべる」(3/6～2012/12/28) ⑪「イラストと写真で綴る上野動物園130年絵巻」(3/12～2012/5/31)
多摩動物公園	①「とっておき写真展」(4/1～6/21) ②「小笠原展 オガサワラシジミと固有の昆虫たち」(6/23～7/19) ③夏休み「カブトムシ展」(7/21～8/24) ④「秋の鳴く虫展」(9/8～27) ⑤「ZOOと！ぬいぐるみ」(3/1～2012/5/8)
葛西臨海水族園	①「藻場(もば)・海のゆりかご 海藻たちのワンダーランド」(4/1～5/10) ②「小笠原展 海洋島とその海に暮らす生き物」(6/16～8/31) ③「水生昆虫を観てみよう！」(7/7～9/6) ④「東京湾にも深海ギョ!？」(8/6～9/19) ⑤「博物画に観るエビとカニの美 杉浦千里が描いた海の生き物」(12/15～2/28) ⑥「体験！海辺の生き物」(3/15～5/8) ⑦「江戸前の海 二枚貝から見た東京湾」(3/15～5/8)
井の頭自然文化園	①「知ってる？外来生物」(4/1～5/8) ②「ちゅうげっ歯類展」(4/9～11/26) ③「希少野生動物の保全とイエネコ対策 小笠原と対馬を例に」(6/21～8/31) ④「いもり学にゆうもん」(7/2～10/16) ⑤「小さな不思議 大きな発見 いきものは遊び友達」(9/6～12/28) ⑥「メダカが教えてくれること」(12/13～2/19) ⑦「ワンダーハット・リターンズ」(1/2～2012/11/25)

園 名	内 容
	⑧「放流をやめよう」(3/6～2012/4/8)

(4) その他の企画プログラム

「国際博物館の日」催物

国立科学博物館、東京国立博物館、恩賜上野動物園の連携により、動物園・博物館自然史・文化セミナー（講座と動物観察）を実施した。

実施月日	内 容	摘 要
5月15日	テーマ「上野の山でネズミめぐり」 ①観察「生きたネズミの観察」 小泉祐里（恩賜上野動物園） ②講義「野ネズミ類の形と生態」 川田伸一郎（国立科学博物館） ③講義「トーハクのネズミ」 神辺知加（東京国立博物館）	博物館で講演と見学、動物園で観察と解説を実施。参加者数25名

3. 体験プログラム・フィールドプログラム

動物やその生息環境について、来園者が有意義に観察し、楽しみながら学べるよう、各種プログラムを企画し、実施した。

(1) 体験プログラム

園名	内容
恩賜上野動物園	①サマースクール (7/21～22, 26～27, 29～30) ②大人のための飼育体験 (2/26, 28)
多摩動物公園	①サマースクール (7/21～22, 25～26) ②大人のための動物園第1回 (11/29, 12/1～3) ③大人のための動物園第2回 (3/19, 22～23) ④サイエンズカフェ (5/21, 1/21, 2/4, 2/18, 3/3, 3/17)
葛西臨海水族園	①フィッシュレンジャーKids (小学1・2年生) (8/4～6) ②フィッシュレンジャーJr. (小学3・4年生) (8/9～12) ③フィッシュレンジャー (小学5・6年生) (7/21, 22) ④親子で楽しむ夜の観察会 (9/23, 9/24) ⑤大人のための夜の観察会 (10/22, 23)
井の頭自然文化園	①文化園いきものクラブ (年10回実施) ②サマースクール (7/21～22, 26～27) ③ヤマネコミニ講座 (10/15～16)

(2) フィールドプログラム

園名	内容
恩賜上野動物園	①コウモリの観察会 (9/3) 於：不忍池畔 [台風12号の影響により中止]
多摩動物公園	①ムササビ観察会 (8/28) 於：園内および高尾山 ②雑木林に住む身近な生きもの (9/24, 12/10, 2/25) 於：園内および都立七生公園 ③初心者野鳥観察会 (3/11) 於：園内および動物ホール
葛西臨海水族園	①干潟の生物観察会 (5/21～22) 於：葛西海浜公園「西なぎさ」 ②観音崎・磯の生物観察会 (6/19) 於：神奈川県横須賀市 ③水族園から始める川遊び (7/10, 17) 於：園内「水辺の自然」
井の頭自然文化園	①身近ないきもの探検 (7/3, 8/7, 9/23, 1/8) 於：園内 ②親子で川遊び 生き物のつかまえ方・飼い方 (7/17) 於：都立野

園名	内容
	川公園 ③親子で井の頭池たんけん (9/18) 於：園内

(3) 講演会・上映会

動物園・水族館及び自然、野生動物の知識を深めるために、大人から子どもまで様々な年齢層を対象に、講演会・上映会を実施した。

① 動物園講演会

実施月日	園名	演題・講師	参加者
4月29日	上野	国際コウモリ年講演会「コウモリ夫婦の『世界のフルーツパットを見てみたい!』」大沢啓子(コウモリ研究者)	119名
4月29日	井の頭	「知っているようで知らないウサギとネズミのお話」 ①「兎に角(とにかく)、ウサギ」成島悦雄(井の頭自然文化園長) ②「こんなにいろいろ、げっ歯類」馬島洋(井の頭自然文化園)	61名
5月28日	上野	第46回高碕賞受賞記念講演会(東日本大震災に伴う閉園のため延期して実施) ①受賞記念講演「初めてのカワネズミの展示」菊地文一(多摩動物公園) ②話題「カバ来日100年記念講演:カバの飼育」井上智右(上野動物園)	83名
5月29日	多摩	「動物園で考える生物の進化」渡辺政隆(サイエンスライター、独立行政法人科学技術振興機構科学コミュニケーションエキスパート)	59名
6月26日	井の頭	「野生動物を守るための獣医師の仕事」 ①「動物園獣医師の関わり」成島悦雄(井の頭自然文化園長) ②「開業獣医師の関わり」高橋恒彦(東京都獣医師会野生動物対策委員)	156名
7月31日	上野	国際コウモリ年講演会「東京のコウモリたち 都会のコウモリ・島のコウモリ」 ①「都会のコウモリ——アブラコウモリ」河合久仁子(北海道大学研究員) ②「島のコウモリ——オガサワラコウモリ」杉田典正(立教大学特別研究員)	47名
10月9日	上野	「上野に来たパンダたち カンカン・ランランからリーリー・シンシンまで」土居利光(上野動物園園長)	112名

実施月日	園名	演 題 ・ 講 師	参加者
10月15日	葛西	「南極に暮らす生き物——極低温への適応」 ①「南極から魚を連れてくる：採集と輸送」多田諭（葛西臨海水族園） ②「南極にすむ生物の飼育について」笹沼伸一（葛西臨海水族園） ③「南極の魚類について」岩見哲夫（東京家政学院大学教授）	40名
10月16日	多摩	保全フォーラム2011「希少鳥類の保全」（高校生以上の学生対象） ①「カンムリシロムクの保全活動」Tedi Sutedi（インドネシア・西部バリ国立公園所長） ②「ヤンバルクイナの現状と課題」長嶺隆（NPO法人どうぶつたちの病院理事長） ③「アカガシラカラスバトの保全——動物園でできること」神門英夫（上野動物園） ④「鳥類の繁殖について」廣瀬格（野生生物保全センター）	51名
10月22日	上野	「カエルの国NIPPONにやってきた客人（まろうど）たち」 ①「生物多様性とカエル」桑原一司さん（Aark日本代表理事） ②「ラフカディオ・ハーンが見た日本人とカエル」小泉凡（島根県立大学短期大学部教授） ③「カエル型宇宙人、ケロロ軍曹の人気」渡辺啓之（角川書店）	31名
11月27日	葛西	「身近にいた水辺の生き物 いまとこれから」第1回 ①「イモリを守ることで、何ができるのか??——都立動物園・水族園の取り組み」荒井寛（葛西臨海水族園） ②「身近なカエルたちのいま」戸田光彦（財団法人自然環境研究センター） ③「里地の自然、きのう・きょう・あす」市川憲平（姫路市立水族館館長）	58名
12月18日	井の頭	「身近にいた水辺の生き物 いまとこれから」第2回 ①「危機に瀕する水生昆虫たち——その現状と保全のとりくみ」荻部治紀（神奈川県立生命の星・地球博物館） ②「カエルとサンショウウオのいまとこれから」林光武（栃木県立博物館） ③「イモリを守る活動 都立動物園・水族園の取り組み」兒玉雅章（井の頭自然文化園）	74名
1月14日	上野	「辰<竜・ドラゴン>と呼ばれるトカゲたちの世界」疋田努（京都大学大学院教授）	102名

実施月日	園名	演 題 ・ 講 師	参加者
2月26日	井の頭	「人と共にくらす野鳥たち」 ①「井の頭池の水鳥の変化」成島悦雄（井の頭自然文化園長） ②「人と共にくらす野鳥たち」杉森文夫（日本鳥類保護連盟保護共生室長）	110名
3月18日	上野	開園130周年記念講演会 ①講演「希望～復興する被災園の水族館から未来の動物園・水族館を語る」安部義孝（アクアマリンふくしま館長） ②鼎談「動物園・水族館の持続可能性」安部義孝、土居利光（上野動物園長）、成島悦雄（井の頭自然文化園長）	135名
3月24日	上野	第47回高碕賞受賞記念講演会 ①話題「アジアゾウの繁殖」乙津和歌（上野動物園） ②受賞記念講演「アカガシラカラスバトの飼育と生息域内保全との連携」神門英夫（上野動物園）	67名
3月25日	葛西	「東京湾奥に生息するトビハゼの現状」（会場：葛西臨海公園内ホテルシーサイド江戸川） ①「トビハゼを水槽内で増やす」田辺信吾（葛西臨海水族園） ②「トビハゼの不思議な子育て」石松惇（長崎大学大学院水産・環境科学総合研究科教授） ③「人工護岸を用いたトビハゼ生息地保全の取り組み」柵瀬信夫（鹿島建設株式会社）	50名

② 他団体との共催講演会

実施月日	4月16日
行事名	日本のカエル文化——鳥獣戯画からけろけろけろっぴまで
共催	Aark両生類の箱舟、かえる文化研究所
会場	恩賜上野動物園
参加者数	80名
内容	講演「カエルと人の守る・守られる関係／Aark種選定会議を経て」 桑原一司（Aark日本代表理事） 講演「日本の美術史に登場したカエルとカエルの擬人化について——鳥獣戯画のカエルからけろけろけろっぴまで」 若杉準治（京都大学大学院教授／京都国立博物館） ③対談「カエルと人間」若杉準治・新倉典生（かえる文化研究所）

実施月日	7月10日、9月25日、10月23日
行事名	連続講座「地球のいのち 野生との共存」
共催	日本獣医生命科学大学
会場	7/10日本獣医生命科学大学、9/25井の頭自然文化園、10/23多摩動物公園
参加者数	116名、79名、109名
内容	第1回「いのちを守る」 オープニングアドレス「野生と共存するために——行動する動物園と大学」 羽山伸一（日本獣医生命科学大学教授） 基調講演 ①「動物園が守る生物多様性」 土居利光（多摩動物公園長） ②「生息地と協働した保全活動——イモリやトキを例として」 成島悦雄（井の頭自然文化園園長） 第2回「いのちを伝える」 趣旨説明「生きている動物をみせることの意味」 成島悦雄（井の頭自然文化園園長） 講演 ①「伝えたいいのち——創部34年の歩みと未来へ」 日本獣医生命科学大学レクリエーション同好会 ②「動物観察の楽しみ方——動物解説員の活動」 草野晴美（多摩動物公園）

	<p>③「子どもと自然をつなぐ一井の頭自然文化園の取り組み」天野未知（井の頭自然文化園）</p> <p>第3回「いのちを科学する」 趣旨説明「野生動物を研究する意義」土居利光（上野動物園長） 講演〔身近な生きもの編〕</p> <p>①「身近な生きものを科学する」田畑直樹（多摩動物公園長） ②「イモリを調べる・イモリを守る」児玉雅章（井の頭自然文化園） 講演〔希少動物編〕</p> <p>③「希少動物の人工繁殖技術」堀達也（日本獣医生命科学大学准教授） ④「糞から分かること——希少動物の繁殖のために」下川優紀（多摩動物公園） クロージング・アドレス「動物園と大学の明日」羽山伸一（日本獣医生命科学大学教授）</p>
--	--

実施月日	10月2日
行事名	動物園市民公開講座「野生動物のお医者さん」
共催	日本野生動物医学会
会場	多摩動物公園動物ホール
参加者数	118名
内容	<p>「動物園ではたらく」豊嶋省二（多摩動物公園） 「水族園ではたらく」勝俣悦子（鴨川シーワールド） 「希少野生動物繁殖施設ではたらく」和食雄一（長岡市トキ分散飼育センター） 「傷病鳥獣救護施設ではたらく」加藤千晴（神奈川県自然環境保全センター）</p>

実施月日	3月3日
行事名	春のカエルトーク・イベント
共催	Aark両生類の箱舟、かえる文化研究所
会場	恩賜上野動物園動物園ホール
参加者数	70名
内容	<p>テーマ「身近にいるカエルを大切にすることで見えてくる幸せについて」</p> <p>①基本講演「日本語で鳴かないカエルたちとつきあう方法」三谷伸也（鳥羽水族館飼育研究部） ②講演「春にかんがえるカエルの幸せ—保護活動の視点から」桑原一司（Aark日本代表理事） ③講演「フロッグスタイルは幸せのかたち—カエルキャラクター進化論」高山ビッキ（カエルタイムズ編集長）</p>

	④ディスカッション「幸せのシンボルとしてのカエルについて」新倉典生（かえる文化研究所所長）、三谷伸也、桑原一司、高山ビッキ（カエルタイムズ編集長／司会）
--	--

実施月日	3月4日
行 事 名	ゾウオロジー2012
共 催	ゾウオロジー実行委員会
会 場	恩賜上野動物園動物園ホール
参加者数	110名
内 容	講演「アジアゾウのマタニティライフ——アーシャーの出産と赤ちゃん」 鈴木千尋（豊橋総合動植物公園） 講演「化石から読み解くゾウの歴史」 三枝春生（兵庫県立人と自然の博物館） 講演「Elephant Family」 椎名修（愛媛県立とべ動物園） インターネット回線を利用した対談「タイのゾウと生中継!!」 Josh Plotnik氏（ケンブリッジ大学）・入江尚子（総合研究大学院大学）

③ 上映会

実施月日	内 容	作 品	参加者
3月20日	開園130周年記念「記録映画上映会」 （上野動物園）	「動物まつり」「動物園日記」 「動物と語ろう地球の仲間」（各 1回上映）	計120名
3月31日	開園130周年記念「思い出どうぶつ えんシアター」（2012/4/5も開催）	「動物まつり」「動物と語ろう地 球の仲間」（各1回上映）	計80名

4. 学校教育との連携

(1) 各園実績

園名	内容
恩賜上野動物園	①教員セミナー（1件58名） ②職場訪問（48件403名） ③職場体験（10件50名） ④団体見学指導（325件22,790名） ⑤都立高校「奉仕の時間」（2件18名） ⑥大学ほか実習生の指導（都立園芸高校含む）（91名） ⑦インターンシップ（1名） ⑧出張授業（16回）
多摩動物公園	①教員セミナー（3件69名） ②職場訪問（8件25名） ③職場体験（7件20名） ④団体見学指導（182件12,745名） ⑤都立高校「奉仕の時間」（19名） ⑥大学ほか実習生の指導（43名） ⑦出張授業（11回）
葛西臨海水族園	①教員セミナー（5件98名） ②職場訪問（24件135名） ③職場体験（5件13名） ④団体見学指導（160件9,859名） ⑤教材貸出（323件） ⑥大学ほか実習生の指導（16名） ⑦インターンシップ（1名） ⑧出張授業（4回） ⑨その他（実習3名、ボランティア2名）
井の頭自然文化園	①教員セミナー（4件79名） ②職場訪問（9件28名） ③職場体験（9件15名） ④団体見学指導（98件5,770名） ⑤教材貸出（62件） ⑥大学ほか実習生の指導（18名） ⑦出張授業（7回）

(2) 教員セミナーの開催

4園共同で小学校教員を対象に、各園において飼育展示動物の素顔や展示の工夫等を紹介し、校外学習で利用するポイントと授業へのヒントを探る講座とワークショップを開催した。

実施日	内容	講師	参加者
7月26日	“授業に役立つ”水族園講座	葛西臨海水族園教育普及課、飼育展示課	8名

7月27日	“授業に役立つ”水族園講座	葛西臨海水族園教育普及課、飼育展示課	12名
7月28日	研究コース：3年生理科の昆虫	多摩動物公園教育普及課	21名
7月29日	“まるごと体験”水族園講座	葛西臨海水族園教育普及課、飼育展示課	35名
8月1日	“飼育と観察”水族園講座	葛西臨海水族園教育普及課、飼育展示課	23名
8月2日	“飼育と観察”水族園講座	葛西臨海水族園教育普及課、飼育展示課	20名
8月2日	観察シートで動物観察	多摩動物公園教育普及課、飼育展示課	31名
8月5日	動物園活用法 ——動物園をもっと知ろう	上野動物園教育普及課、飼育展示課	58名
8月22日	研究コース：動物の骨格	多摩動物公園教育普及課	17名
8月23日	文化園学習利用コース	井の頭自然文化園	17名
8月24日	いきもの飼い方コース	井の頭自然文化園	26名
8月25日	動物観察実習コース	井の頭自然文化園	18名
8月26日	身近な水生生物観察コース	井の頭自然文化園	18名

(3) 出張授業の開催

各園において動物園の仕事や動物の飼育管理などについて、職員が講師となり学校や図書館などに出向き出張授業を開催した。

実施園	出張先	施設数	のべ参加者数
恩賜上野動物園	都立園芸高校、国際子ども図書館ほか	11	1,656名
多摩動物公園	麻布大学、新宿区立大久保小学校ほか	11	671名
葛西臨海水族園	筑波大付属視覚特別支援学校ほか	4	222名
井の頭自然文化園	多摩市立連光寺小学校ほか	5	721名

(4) 連携推進用資料の作成

校外学習などのための団体来園者に、少しでも有意義な見学ができるよう、生き物を見るポイントや園の見どころが分かるプログラム・教材を紹介した、教育活用ハンドブックを各園で作成し、引率者の参考資料として配布した。

5. 友の会運営

動物園・水族園への関心を高めるとともに、広く自然科学への興味を育ててもらうために組織している「東京動物園友の会」の運営を行った。

名 称	東京動物園友の会
会 員 数	一般：2,995名 ジュニア：205名（平成24年3月31日現在）
実施事項	①新規入会、継続手続等、受付・管理事務 ②季刊雑誌「どうぶつと動物園」及びジュニア向け会誌「ZOO! どうぶつえんしんぶん」の送付 ③各種普及活動案内送付（ダイレクトメール） ④新規入会案内パンフレットの作成及び配布

(1) 友の会会員対象催物

実施月日	行 事 名	内容・講師等	参加者
6月19日	観音崎・磯の生物観察会	神奈川県観音崎で磯にくらす生物を観察 指導：観音崎自然博物館、葛西臨海水族園	32名
7月8～ 10日	ルリカケスと奄美大島の野生動物観察会	奄美大島で亜熱帯の生物を観察するとともに、博物館・保護センター等を見学 指導：奄美ネイチャーセンター他、上野動物園	25名
9月4日	昆虫野外観察会	町田市立野津田公園でクツワムシなどの昆虫を観察 指導：多摩動物公園	18名
10月29～ 30日	佐渡トキ保護センターとマリンピア日本海見学ツアー	マリンピア日本海を見学の後、佐渡で保護センター等トキの保護増殖に関わる施設を見学 指導：佐渡トキ保護センター、多摩動物公園	28名
12月10日	野生の小動物との出会いを楽しむ	都留市観察スペースで、アカネズミやヒミズ等、里山に生息する小動物を観察。 講師：北垣憲仁（都留文化大学）、井の頭自然文化園	16名
12月10～ 11日	西日本の新しいペンギン展示施設見学会	下関と長崎の新しいペンギン展示施設を見学 指導：上田一生（目黒学区員高等学校）、葛西臨海水族園	14名
1月14日	干支の動物講演会	講演：「辰<竜・ドラゴン>と呼ばれるトカゲたちの世界」 講師：疋田努氏（京都大学大学院教授）	102名

(2) ジュニア会員対象催物

実施月日	開催園	内 容	参加者
9月17日	井の頭自然文化園	井の頭池で生物を観察	19名
1月22日	上野動物園	在来家畜について学ぶ見学会	43名
2月19日	多摩動物公園	園内と都立七生公園で冬の昆虫を観察	29名
3月11日	葛西臨海水族園	マグロ水槽裏側や新しおだまり等施設見学	44名

(3) 「友の会の日」の実施

当年度の「友の会の日」は上野動物園で開催し、園内施設見学を実施した。また、友の会会員相互及び動物園・水族園スタッフとの交流を深めるための懇親会を開催した。(145名参加)

実施月日	催物名	内 容
9月10日	友の会の日 (多摩動物公園)	第1部：各園園長による話題紹介、飼育展示係による講演 「カワウソの復活をめざして」(大橋直哉)、「キングチーター誕生！」(唐沢瑞樹)、アフリカ園特別見学 第2部：懇親会及びチャリティーバザー(アフリカ園食堂前)

6. 資料の収集・公開

動物及び動物園・水族館関係の専門書や学術雑誌、普及雑誌を中心に収集した。定期刊行物は、購入や寄贈のほか、動物園、博物館、研究所等の出版物との交換により収集した。

そのほか、海外の動物園ボランティア、会員組織に関する情報や、野生動物をとりまく国際的な状況を的確に把握するとともに、海外の動物福祉、倫理関連等に関する文献（Journal of Animal Welfare [2011]等）を収集した。

写真・ビデオ等の映像資料のほか、動物の音声資料（録音データ）も園内外の利用に供した。収蔵図書については、ホームページ上に図書検索システムを設けている。

（1）図書収集状況

区 分	収集 点数	国 内			国 外			摘 要
		購入	寄贈	交換	購入	寄贈	交換	
書 籍 類	172	90	58	0	11	13	0	収蔵数 和書 12,613冊 洋書 3,852冊
雑 誌 類	651	200	191	126	97	37	0	

（2）図書利用一覧

区分	動物園	哺乳類	鳥 類	爬虫類	魚 類	無脊椎	一 般	その他	計
件数	37	25	5	1	0	3	9	4	84

（都立動物園水族園関係者は除く）

（3）映像資料利用状況

区 分	無 料		有 料		合 計	
モノクロ写真	13件	69点	22件	118点	35件	179点
カラー写真	38	221	59	186	97	407
ビデオ映像	19	30	47	166	66	196
音 声 資 料	0	0	7	23	7	23
計	70件	312点	135件	493点	205件	805点

（都立動物園水族園関係者は除く）

7. 出版事業

(1) 機関誌の発行

動物及び動物園に関する情報を提供するための出版物を発行し、「東京動物園友の会」会員その他関係機関等に配付した。

刊行物	内 容
季刊 どうぶつと動物園	<p>A 4 変型判・54頁／約4,250部／春・夏・秋・冬号 (Vol.63-2～64-1)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・春号は上野動物園で3年ぶりに来園した2頭のジャイアントパンダについて、写真を中心に紹介する記事を掲載した。 ・夏号はジャイアントパンダの公開や人工保育のチンパンジーの群れ入れなどに関する紹介記事を掲載した。 ・秋号は小笠原諸島が世界自然遺産に登録されたことにあわせ、上野動物園のアカガシラカラスバトの人工育雛や多摩動物公園のオガサワラシジミの飼育等、都立動物園が小笠原固有種の保全にも取り組んでいることを紹介する記事を掲載した。 ・冬号は豊橋総合動植物園と共同により国内で4例目のアジアゾウ誕生の紹介や、ツキノワグマの冬眠下での繁殖についての観察結果を掲載したほか、上野動物園の新施設「ホッキョクグマとアザラシの海」を様々な角度から紹介した。 ・そのほか各号において、動物研究の最新知見として、ツチガエルの分泌物研究や、南極でのアデリーペンギンの生態調査、メグロの進化と生態、マダラコブクモヒメバチの産卵行動の研究等、多様な観点から紹介した。
ZOO! どうぶつえんしんぶん	<p>A 4 判・8頁／800部／8月・2月発行</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第6号（8月発行）は「ジャイアントパンダ」を特集した。上野動物園の2頭の性格の違いや餌の作り方等を飼育担当者のコメントによって解説するとともに、一般的な生態や形態の解説を掲載した。また、哺乳類の「爪の数」をランキングとして掲載した。 ・第7号（2月発行）は「ニホンリス」を特集した。ニホンリスの形態・習性を紹介するとともに、井の頭自然文化園の「リスの小径」での観察のポイントを解説した。リス以外の齧歯類も紹介し、リスの知識を得るための「あなたのリス度チェック」を掲載した。

(2) 民間との協働による出版物

刊行物	内 容
マンスリー どうぶつえん	A 4 変型判・12頁／約45,000部／第5号～第14号（10回）発行
	・恩賜上野動物園の話題の動物を取り上げ、動物園の魅力を伝える情報誌を発行し、園内や都庁に設置して配布した。
	第5号 サル山で展示している下北半島のニホンザル、他
	第6号 来園したジャイアントパンダ「リーリー」と「シンシン」、他

	第7号 小獣館、春に生まれた赤ちゃん、他
	第8号 両生爬虫類館とその特設展を紹介、他
	第9号 ハシビロコウとさまざまな鳥類、他
	第10号 動物たちの餌、餌の時間、他
	第11号 インドライオン、スマトラトラ、他
	第12号 新施設「ホッキョクグマとアザラシの海」紹介、他
	第13号 上野動物園で展示している日本産野生動物、他
	第14号 上野動物園で展示しているアフリカ産動物たち、他

(3) 写真集『動物たちの130年——上野動物園のあゆみ』の刊行

恩賜上野動物園開園130年を記念し、その歴史を写真や図絵で紹介する写真集を刊行した。

刊行物	内 容
動物たちの130年 ——上野動物園のあゆみ	菊倍判変型・64頁／2,000部発行／平成24年3月20日刊 ・協会所蔵の写真や図絵の中から、初来園や初来日の動物、外国から来た動物、戦前・戦中・戦後の展示など、上野動物園の130年を特徴づけるさまざまな動物の姿や、これまでの展示舎や園内風景などを紹介した。

(4) 高碕賞の表彰

季刊「どうぶつと動物園」にに掲載された記事及び写真を対象に、優れた作品を選出し、表彰した。

区分	表 題	掲載号	氏 名	摘 要
高碕賞	アカガシラカラスバトの飼育 ——人工育雛飼料ができるまで	秋号	神門英夫 坂下涼子	上野動物園
奨励賞	多摩動物公園のウォンバット	春号	内山輝江	
	上野動物園のニシローランドゴリラ	夏号	越川映子	
	札幌市円山動物園のホッキョクグマ	秋号	野寺敏子	

8. インターネット事業

ホームページ「東京ズーネット」(都立動物園・水族園公式サイト)及びメールマガジン「ズー・エクスプレス」を通じて、動物園・水族園の基本情報及び動物に関する情報を広く提供・配信した。当年度は大規模なサイトリニューアルを行い、イベントカレンダーの設置、園内マップデザインの更新、各種情報の整理など、閲覧者の利便性を考慮した改修を実施した。

また、ホームページ「UENO-PANDA.JP」では、ジャイアントパンダに関する情報を掲載・配信した。

(1) ホームページ「東京ズーネット」の運営 (<http://www.tokyo-zoo.net/>)

【主なコンテンツ】

ページ名	内容等
ニュース&催物	都立動物園で飼育している動物に関する最新情報と各園催物情報
イベントカレンダー	日別のイベントスケジュール情報や開園情報を提供
保全への取組	野生生物や生物多様性の保全、研究、環境教育に関する取組を紹介
どうぶつ図鑑	飼育動物に関する生態等の解説
東京ズーネットBB	動物の様々な行動の動画配信(平成24年3月31日現在計647点)
鳴き声図鑑	動物の鳴き声の音声配信
東京動物園友の会	活動や会誌の紹介
ガイドツアー	各園の動物解説員が行うガイドツアーの内容及びスケジュール案内
蔵書検索	上野動物園資料室に収蔵されている動物関連図書の検索システム

(2) メールマガジン「ズー・エクスプレス」の発行

内容	摘要
都立動物園情報、国内外各種情報、新刊書籍情報等を登録会員に毎週配信	4月8日号(No.531)から3月4日号(No.581)まで全51号を配信した(平成24年3月31日現在:登録数10,875件)

(3) 携帯電話サイトの運営

内容	摘要
都立動物園情報等をPC版サイトに連動して配信	動物園ニュース・催物情報の他、携帯版動画を毎月追加し総計46点を配信した。動画についてはスマートフォンにも対応した。

(4) ホームページ「UENO-PANDA.JP」の開設・運営 (<http://www.ueno-panda.jp/>)

上野動物園のジャイアントパンダ情報サイトとして平成23年2月16日に開設。展示個体ならびに過去に飼育した個体の情報、飼育係によるレポート、ジャイアントパンダに関するQ&Aなどを紹介。また、保全への取組やジャイアントパンダ保護サポート基金の紹介、さらには壁紙ダウンロードコーナーや企業協賛の募集等のコンテンツを加え、豊富な情報を掲載した。

【主なコンテンツ】

ページ名	内 容 等
トピックス	上野動物園のジャイアントパンダに関する最新情報
パンダプロフィール	上野動物園で展示している2頭の個体紹介
ジャイアントパンダについて	様々な角度からジャイアントパンダを紹介
熊猫的新聞 (パンダニュース)	飼育係による写真付きのレポート
歴代のパンダたち	これまで上野動物園で飼育した個体を動画とともに紹介
パンダ舎の紹介	ジャイアントパンダ舎を写真付きで紹介
パンダ大百科	ジャイアントパンダに関するQ&A
保全への取組	ジャイアントパンダ保護研究に関する概要
パンダムービー	動画によるジャイアントパンダ紹介
壁紙ダウンロード	パソコン用にダウンロードできる壁紙を提供
ジャイアントパンダ保護サポート基金	基金の概要、SAVE the PANDAパートナーズクレジットカード決済、企業協賛の募集について

9. 映像記録資料制作

(1) 動物写真撮影

都立動物園水族園を中心に、飼育動物全般に関する記録及び園内外の行事や催物を撮影・記録した。

(2) ビデオの作品制作

飼育動物の行動記録や動物園情報をビデオ映像として撮影記録し、来園者向けニュースや各種研究発表として上映・提供するほか、ホームページ「東京ゾーネット」「UENO-PANDA.JP」において配信した。

内 容	時 間	園 名	主な使用目的
ジャイアントパンダ来園	3分	上野	講演用
ジャイアントパンダ	1分	上野	総合案内所上映用
上野動物園の行動展示	1分30秒	上野	講演用
上野動物園ニュース	4分	上野	サポーターズデイ用
ジャイアントパンダ	1分	上野	総合案内所上映用
アカガシラカラスバト採餌	3分	上野	研究資料
ジャイアントパンダ	3分	上野	講演用
ジャイアントパンダ	20分	上野	講演用
クロサイの交尾	2分	上野	講演用
アフリカゾウの交尾	2分	多摩	研究資料
ヒガシクロサイ移動	4分30秒	上野	記録資料用
ホッキョクグマとアザラシの海	1分20秒	上野	総合案内所上映用
ホッキョクグマ	1分40秒	上野	展示舎での上映用
ジャイアントパンダのトレーニング	4分40秒	上野	講演用
雪の朝のジャイアントパンダ	1分30秒	上野	講演用
両生爬虫類6種	20～1分	上野	両生爬虫類館での展示用

(3) 広報用資料の制作

動物園・水族園の広報発表時の写真資料に加え、ビデオ映像を撮影・制作し、提供した。

【広報配布用ビデオ映像】

内 容	時 間	園 名	主な使用目的
ジャイアントパンダのハズバンダリートレーニング	5分30秒	上野	報道発表資料
福島へ帰るカワウソ	2分30秒	上野	〃
アジアゾウ「アーシャー」繁殖	5分	豊橋総合動植物公園で撮影	〃
「ホッキョクグマとアザラシの海」および旧施設のホッキョクグマとアシカ	1分	上野	〃
ジャイアントパンダ筋力トレーニング	2分30秒	上野	〃

(4) 映像記録資料のデジタル化

これまでに当協会が蓄積してきた過去の貴重な写真フィルムや動画フィルム、アナログビデオテープについて、劣化防止、および再生手段の確保のために、デジタルデータ化を進めた。

〔4〕 受託業務

1. ユビキタス運営事業受託

東京都からの委託により、携帯端末ユビキタスコミュニケーター及びユビキタス電動カートを使い、恩賜上野動物園内の動物等の情報を取得できるユビキタスサービスの運営業務を実施した。

項 目	内 容
件 名	上野動物園ユビキタスサービス運営業務
業 務 内 容	①申込受付、操作方法説明、貸出・返却受付、トラブル対応等の利用者接遇業務 ②携帯端末及び周辺機器の保守点検管理業務 ③その他、事前申込受付等
期 間	平成23年4月1日～平成24年3月31日
委 託 金 額	54,600,000円

項 目	内 容
件 名	上野動物園ユビキタス電動カートサービス試験運用
業 務 内 容	①申込受付、操作方法説明、貸出・返却受付、利用中のガイド、トラブル対応等の利用者接遇業務 ②電動カートの保守点検管理業務 ③その他、事前申込受付等
期 間	平成23年9月28日～平成24年1月31日
委 託 金 額	9,303,000円

2. 恩賜上野動物園ジャイアントパンダ繁殖研究プロジェクトに関わる業務受託

東京都からの委託により、都と中国野生生物保護協会の間で締結された「ジャイアントパンダ保護研究実施の協力協定書」に基づく研究プロジェクトについて、恩賜上野動物園におけるジャイアントパンダ繁殖に係る中国側専門家の受入、中国側の保護資金の使用状況に関する調査、プロジェクトの進展状況報告書の作成等の業務を実施した。

項 目	内 容
件 名	上野動物園ジャイアントパンダ繁殖研究プロジェクトに関わる業務委託
業 務 内 容	①パンダ繁殖に係る対応のための中国側専門家の受入 ②中国側のパンダ保護資金の使用状況に関する調査業務 ③「ジャイアントパンダ保護繁殖研究プロジェクト」の進展状況報告書作成
期 間	平成23年6月21日～平成24年3月31日
委 託 金 額	11,340,000円

3. 特別天然記念物トキの健康管理及び飼育指導に係る業務受託

新潟県からの委託により、佐渡市のトキ保護センター、野生復帰ステーションにおいてトキの定期検診及び飼育指導を行った。

項 目	内 容
件 名	特別天然記念物トキの健康管理及び飼育指導
業 務 内 容	①定期健康診断 ②飼育指導 ③野生復帰訓練補助
期 間	平成23年4月1日～平成24年3月31日
委 託 金 額	1,035,000円

〔5〕市民・団体との協働業務

1. ボランティアとの協働

恩賜上野動物園、多摩動物公園、井の頭自然文化園において展示動物の解説等の教育普及のほか、来園者案内等のボランティア活動を行っている「東京動物園ボランティアズ (TZV)」(登録者数659名)と、葛西臨海水族園で同様の活動を行っている「東京シーライフボランティアズ (TSV)」(登録者数117名)に対して、新規応募者対象の研修会の開催、ニューズレターの発行やユニフォーム等活動経費の援助を行った。また上野動物園では、樹木美化ボランティアの長年の取組が評価され、5月に開催された第22回全国「緑の愛護」のつどいで、国土交通大臣表彰を受けた。

(1) 「東京動物園ボランティアズ」研修会等実施状況

園名	内容	実施回数	参加者数
恩賜上野動物園	①ドーナツグループ (DG)・サービスガイド (SG) 新規応募者合同講習会	① 1回	①118名
	②DG前期講習会	② 1回	②47名
多摩動物公園	①DG新規応募者前期講習会	① 1回	①45名
	②DG後期講習会	② 3回	②94名
井の頭自然文化園	①DG後期講習会	① 1回	①47名

(2) 「東京シーライフボランティアズ」研修会等実施状況

園名	内容	実施回数	参加者数
葛西臨海水族園	「東京の海」を中心とした研修 (他に「マグロガイド」「ボトルウォッチング」等)	17回	229名

(3) ボランティアとの協働による教育活動

園名	内容	実施回数
恩賜上野動物園	園内スポットガイド、ふれあいコーナー活動	582回
多摩動物公園	園内スポットガイド、ふれあいコーナー活動	574回
葛西臨海水族園	しおだまり、東京の海ガイド	391回
井の頭自然文化園	園内スポットガイド、ヤマドリガイド	208回

2. サポーター事業

個人及び団体、法人等から資金的支援を得て、都立動物園における動物飼育環境の改善に資するとともに、「動物園サポーター」として登録し、市民の動物園事業への理解と参画意識を促進した。

(1) 動物園サポーターの登録状況

園名	個人 (大人) 1口:10,000円	個人 (大学生以下) 1口:5,000円	子供 サポーター 1口:500円	法人 (団体) 1口:50,000円	金額
上野	285人	33人	40人	7法人	4,227,500円
多摩	109人	8人	17人	4法人	2,055,395円
葛西	10人	1人	6人	0法人	118,000円
井の頭	69人	3人	82人	1法人	1,580,680円
合計	473人	45人	145人	12法人	7,981,575円

(2) サポーターを対象とした園内見学等の催物（サポーターズデイ）等の実施

実施月日	開催園	内 容	参加者
6月12日	上野	園長講演会と施設見学	63名
7月24日	上野	早朝の園内見学	220名
10月27日	上野	「ホッキョクグマとアザラシの海」見学	130名
10月30日	井の頭	園長とともに園内見学	21名
12月11日	多摩	大型ネコ類観察と講演会	73名
3月4日	多摩	園内見学	42名
3月11日	葛西	ペンギンの観察と餌やり体験、新しおだまり見学	12名

(3) サポーター資金による飼育展示等の改善

園名	実施事項
恩賜上野動物園	①バードハウス飼育施設改修 ②子ども動物園カピバラ新展示施設設置 ③小獣館トビウサギとショウガラゴ展示施設改修 ほか

園 名	実 施 事 項
多摩動物公園	①チンパンジー及びゴールデンターキン放飼場の樹木台基礎修繕 ②オランウータン、ユキヒョウ他、飼育施設へのミストシステム設置 ③チーター舎ガラス展示場の雨除け設置 ほか

3. 関係団体との協力

(1) 国際自然保護連合への協力

国際自然保護連合（IUCN）の委員会である種保存委員会（SSC）の保全繁殖専門家グループ（Conservation Breeding Specialist Group 略称CBSG）へ、事業援助のため寄付を行った。

(2) 関係団体への協力

動物園事業に関係する17の団体に加入し、情報の交換や募金活動への協力を行った。

[加入団体]

会員区分	団 体 名	会員区分	団 体 名
特別賛助会員	(公財)世界自然保護基金ジャパン	団体会員	日本動物心理学会
賛助会員	(財)日本鳥類保護連盟	〃	日本霊長類学会
〃	(財)山階鳥類研究所	〃	日本応用動物昆虫学会
維持会員	(社)日本動物園水族館協会	〃	日本環境教育学会
団体会員	(財)日本博物館協会	〃	日本昆虫学会
〃	日本哺乳類学会	〃	日本動物行動学会
〃	日本生態学会	〃	日本鱗翅学会
〃	(社)日本動物学会	〃	日本鳥学会
〃	(公財)日本自然保護協会		

(3) 動物愛護週間中央行事への協賛

実施月日	9月17日、23日
行 事 名	動物愛護週間中央行事
主 催	環境省、東京都他計11団体
内 容	「動物愛護ふれあいフェスティバル」の各種行事やシンポジウム等に協賛した。
会 場	上野恩賜公園不忍池蓮池周辺、野外ステージ、恩賜上野動物園（動物園ホール、子ども動物園）、東京国立博物館平成館講堂

4. 基金事業

(1) ジャイアントパンダ保護サポート基金の運営

募金やドネーション商品からの寄付、企業からの協賛金を積立て、東京都と中国が共同で進めているジャイアントパンダ繁殖研究プロジェクトへの支援や保護に向けた普及啓発活動、上野動物園での飼育環境の向上に活用した。

①収入の状況

項目	金額	内容
寄付金	8,850,423円	①園内外募金箱への募金 ②SAVE the PANDAパートナーズ 133件 ほか
企業協賛金	10,760,843円	①ロゴマークライセンス協賛 7社 ②イベント協賛 ほか
ドネーション商品 売上金からの寄付金	11,436,564円	①オリジナルドネーション商品売上金額の5% アイテム数：60点（ぬいぐるみ、Tシャツほか） 売上点数：204,260点

②基金活用の状況

使 途	活用内容	活用金額
東京都と中国野生動物保護協会が共同で進める国際的なパンダ保護活動	東京都と中国の共同繁殖プロジェクト支援（東京都へ寄付）	10,000,000円
ジャイアントパンダの保護に向けた普及啓発活動	普及啓発イベントの実施、教材（頭骨、前肢骨、前肢レプリカ）の作成	903,000円
上野動物園におけるジャイアントパンダの飼育環境の向上	パンダ舎屋外展示場に遊具を設置	993,300円

③基金残高

基金残高	23,089,209円（平成24年3月31日現在）
------	---------------------------

④ジャイアントパンダ保護サポート基金運営委員会の開催

基金を適正に管理し事業に活用するため、ジャイアントパンダ保護サポート基金運営委員会を開催した。

〔委員・顧問〕

役 職	氏 名	職 名
委 員 長	中 川 志 郎	財団法人日本動物愛護協会理事長
委 員	湯 川 れ い 子	音楽評論家・作詞家
委 員	二 木 忠 男	上野観光連盟会長
委 員	野 口 宏 幸	東京都建設局次長
副 委 員 長	藤 井 芳 弘	公益財団法人東京動物園協会理事長
顧 問	黒 柳 徹 子	女優・ユニセフ親善大使

〔運営委員会〕

回	開催月日	議 題
第 1 回	6 月 13 日	(1) 平成 2 2 年度基金運営状況について (2) 平成 2 3 年度基金事業について
第 2 回	1 0 月 14 日	(1) 副委員長選出 (2) 平成 2 3 年度基金事業について
第 3 回	3 月 29 日	(1) 平成 2 3 年度事業報告及び平成 2 4 年度基金事業について

(2) 東京動物園協会野生生物保全基金の設置

野生生物の保全に積極的に取組む個人・団体の支援を目的として「東京動物園協会野生生物保全基金」を設置し、平成24年度に助成対象となる活動を2月から3月にかけて公募した。

第3 収 益 事 業

I. 事業総括

恩賜上野動物園、多摩動物公園、葛西臨海水族園の利用者の利便と公益目的事業の充実のために、以下の事業を実施した。

また、当年度より、井の頭自然文化園においても東京都の許可を得て収益事業を開始した。

事業区分	事業細目		
	園 名	種 別	箇所数
I. 便益施設の経営	(1) 恩賜上野動物園	(1) 売店	4
		(2) 飲食店	2
		(3) 臨時売店	1
		(4) 自動販売機コーナー	7
		(5) ベビーカー貸出所	1
		(6) 写真(映像資料)貸出	2
		(7) コインロッカー	1
	(2) 多摩動物公園	(1) 売店	4
		(2) 飲食店	1
		(3) 臨時売店	3
		(4) 自動販売機コーナー	7
		(5) コインロッカー	1
		(6) ライオンバス	1
	(3) 葛西臨海水族園	(1) 売店	2
		(2) 飲食店	1
		(3) 自動販売機コーナー	2
(4) コインロッカー		2	
(4) 井の頭自然文化園	(1) 売店(6月より営業)	2	
	(2) 自動販売機コーナー	3	
II. その他事業	(1) 恩賜上野動物園内広告事業(広告施設10箇所) (2) 協賛金募集事業(ジャイアントパンダ保護サポート基金等)		

Ⅱ. 事業実績

〔1〕 便益施設等の経営

1. 施設及び収入額

(単位：千円)

園 名	施 設 名	収 入 額
恩賜上野動物園	1. 1号売店 (店名：リトルトランク) 2. 4号売店 (店名：カメレオン) 3. 東食売店 (猿山前) 4. 東園中央広場売店 (店名：バードソング) 5. 飲食店第1号 (東園) 6. 飲食店第2号 (西園) 7. 臨時売店 8. 自動販売機コーナー 9. ベビーカー貸出所 10. 写真 (映像資料) 貸出 11. コインロッカー 12. フォトサービス 13. その他	2,335,342
多摩動物公園	1. 2号売店 (コアラ館) 2. 3号売店 (ライオン園) 3. 4号売店 (店名：コレクション) 4. 5号売店 (店名：ズーカフェ) 5. 飲食店 (アフリカ園) 6. 臨時売店 7. 自動販売機コーナー 8. ライオンバス 9. コインロッカー 10. その他	512,658
葛西臨海水族園	1. 1号売店 (店名：アクアマリン) 2. 2号売店 (店名：アクアスケープ) 3. 飲食店 (店名：シーウインド) 4. 自動販売機コーナー 5. コインロッカー 6. その他	517,580

井の頭自然文化園	1. 1号売店（店名：はなこカフェ） 2. 2号売店（店名：こもれび） 3. 自動販売機コーナー 4. その他	68,330
合 計		3,433,909

2. 商品取扱状況

(単位：点)

区 分		恩賜上野 動物園	多摩 動物公園	葛西 臨海水族園	井の頭 自然文化園
取扱商品数		1,453	1,658	1,595	159
内 訳	ギフトその他	1,158	1,405	1,434	66
	飲 食 品	295	253	161	93

〔2〕 その他の事業

1. 恩賜上野動物園内広告事業

上野動物園の案内誘導サイン等の整備費用に充てるため、園内に設置した下記の広告掲示施設により、広告料金による民間からの資金を得た。

種 別	設 置 場 所	数 量
動物解説ボード	ジャイアントパンダ、ニホンザル、カバ、サイ、ゾウ、ゴリラ、ワシ・タカ、キリン・オカピ、ハシビロコウ	9基
環境啓発ボード	モノレール東園駅前	1基
収 入 額	9,615 千円	

2. 協賛金募集事業

ジャイアントパンダ保護サポート基金を活用した事業展開のため、園内メディアやイベントの協賛、園外でのロゴマーク協賛などを実施した。

収 入 額	13,266 千円
-------	-----------

Ⅲ. 公益目的事業への貢献等

従来より、収益の一部を公益目的事業会計に繰り入れ、教育普及事業等に活用してきたところであるが、当年度は、今期収益事業の良好な業績を受けて公益目的事業への繰入金を倍増し、これまでの事業に加えて映像資料のデジタル化や上野動物園開園130周年を記念する写真集を刊行するなど、さらに充実を図った。

あわせて、将来の繁殖に向けてホッキョクグマ新個体を購入するとともに、野外卓、ベンチ等観覧環境の整備を行い、東京都に寄付した（寄付総額169,937千円）。

また、収益事業においても、老朽化した無料休憩所や売店等の改修工事を行い、都に寄付した（寄付総額84,164千円）。

第4 事 務 報 告

I. 役員会議の開催

〔1〕 評議員会

回	開催月日	議 題
第1回	6月29日	(1) 平成22年度事業報告について (2) 平成22年度決算報告について 監査報告
※	7月21日	(1) 理事の選任について
※	9月21日	(1) 監事の選任について
第2回	3月28日	(1) 理事の選任について (2) 監事の選任について

※書面表決による決議

〔2〕 理 事 会

回	開催月日	議 題
第1回	6月13日	(1) 平成22年度事業報告について (2) 平成22年度決算報告について (3) 定時評議員会の開催について 監査報告 理事長及び常務理事の職務状況報告
第2回	7月28日	(1) 理事長の選任について (2) 常務理事の選任について (3) 常勤理事の報酬額について
※	10月21日	(1) 評議員候補者の推薦について
※	11月15日	(1) 資金調達及び設備投資の見込みについて
第3回	1月23日	(1) 平成23年度収支予算の補正について (2) ホッキョクグマの購入及び国際売買契約の締結に ついて (3) 常勤理事の報酬額の変更について

回	開催月日	議 題
		(4) 育児・介護休業に関する規程の改正について
第4回	3月28日	(1) 平成24年度事業計画（案）について (2) 平成24年度収支予算（案）について (3) 諸規程の一部改正及び廃止について (4) 顧問就任の承認について (5) 参与の委嘱及び報酬額について 理事長及び常務理事の職務状況報告
※	3月31日	(1) 常務理事の互選について

※書面表決による決議

〔3〕評議員選定委員会

回	開催月日	議 題
第1回	10月25日	(1) 評議員の退任等にもなう後任者の選定について

Ⅱ. 監 査

- 〔1〕平成22年度の事業報告及び決算報告について、平成23年6月6日に監事による監査を実施した。
- 〔2〕京橋監査法人と監査契約を締結し、公認会計士による会計帳簿・証憑書類の試査、実地棚卸立会、現金実査、銀行残高確認等の外部監査を実施した。

Ⅲ. 人事関係

〔1〕 就任・退任

① 理事・監事の就任

役職名	氏名	就任月日	摘要
理事長	藤井 芳弘	8月1日	前東京都収用委員会事務局長
常務理事	小宮 輝之	8月1日	前東京都恩賜上野動物園長
監事	東 了一	10月1日	東京都建設局総務部長

② 評議員の就任

役職名	氏名	就任月日	摘要
評議員	林 公義	11月1日	横須賀市自然・人文博物館特別委員
〃	三浦 慎悟	11月1日	早稲田大学人間科学学術院教授
〃	安藤 元一	11月1日	東京農業大学農学部バイオセラピー学科教授
〃	上野 和彦	11月1日	東京都議会環境・建設委員会委員長
〃	野口 宏幸	11月1日	東京都建設局次長

③ 理事・監事の退任

役職名	氏名	退任月日	摘要
理事長	浅倉 義信	7月31日	元東京都建設局次長
常務理事	小口 健藏	5月31日	元東京都建設局公園緑地部長
〃	小宮 輝之	3月31日	前東京都恩賜上野動物園長
監事	野口 宏幸	9月30日	前東京都建設局総務部長
〃	木村 一雄	2月10日	上野のれん会名誉会長

④ 評議員の退任

役職名	氏名	退任月日	摘要
評議員	村田 浩一	7月1日	日本大学生物資源科学部教授
〃	影山 竹夫	10月5日	東京都選挙管理委員会事務局長
〃	橘 正剛	10月31日	前東京都議会環境・建設委員会委員長

〔2〕役員等名簿（平成24年3月31日現在）

○総 裁 常陸宮正仁親王殿下

○会 長 貫 洞 哲 夫

（1）理事・監事

No.	役職名	氏 名	摘 要
1	理事（理事長）	藤 井 芳 弘	前東京都収用委員会事務局長
2	理事（常 務）	小 宮 輝 之	前東京都恩賜上野動物園長
3	〃	山 田 隆	前公益財団法人東京動物園協会特命担当部長
4	理 事	菅 谷 博	茨城県立自然博物館長
5	〃	羽 仁 進	映画監督・評論家
6	〃	西 山 廣 一	京王電鉄株式会社特別顧問
7	〃	岡 野 俊 一 郎	日本オリンピック委員会理事
8	〃	青 木 淳 一	横浜国立大学名誉教授
9	〃	島 津 久 永	財団法人山階鳥類研究所理事長
10	〃	見 城 美 枝 子	青森大学社会学部教授、エッセイスト
11	〃	小 林 光	財団法人自然環境研究センター上級研究員
12	〃	林 有 厚	株式会社東京ドーム代表取締役会長
13	〃	長 谷 川 寿 一	東京大学大学院総合文化研究科長・教養学部長
14	〃	滝 澤 達	東京都建設局公園管理担当部長
1	監 事	木 村 欣 二	あかつき証券株式会社顧問
2	〃	東 了 一	東京都建設局総務部長

（2）参 与

No.	氏 名	摘 要
1	西 源 二 郎	東京都葛西臨海水族園長

(3) 評 議 員

No.	氏 名	摘 要
1	林 良 博	財団法人山階鳥類研究所長
2	高 橋 茅 香 子	翻訳家
3	松 島 ト モ 子	俳優
4	内 山 晟	動物写真家
5	久 邦 彦	漫画家・絵本作家
6	海老名香葉子	エッセイスト
7	篠 永 哲	元東京医科歯科大学大学院助教授
8	遠 藤 秀 紀	東京大学総合研究博物館教授
9	今 泉 忠 明	日本ネコ科動物研究所長
10	林 公 義	横須賀市自然・人文博物館特別委員
11	三 浦 慎 悟	早稲田大学人間科学学術院教授
12	安 藤 元 一	東京農業大学農学部バイオセラピー学科教授
13	上 野 和 彦	東京都議会環境・建設委員会委員長
14	野 口 宏 幸	東京都建設局次長
15	大 内 弘	東京都東部公園緑地事務所長
16	五 十 嵐 政 郎	東京都西部公園緑地事務所長
17	近 藤 信 司	独立行政法人国立科学博物館長
18	高 橋 都 彦	公益財団法人東京都公園協会理事長

(4) 顧 問

No.	氏 名	摘 要
1	石 原 慎 太 郎	東京都知事
2	石 内 展 行	元財団法人東京動物園協会理事長
3	浅 倉 繁 春	元財団法人東京動物園協会理事長
4	中 川 志 郎	元財団法人東京動物園協会理事長
5	矢 島 稔	元財団法人東京動物園協会理事長
6	齋 藤 勝	元財団法人東京動物園協会理事長
7	正 田 陽 一	元財団法人東京動物園協会副会長

(5) 正会員

〔賛助会員〕 上田 浩 斉藤進一 高碓芳郎 上田憲治 上田清一

〔特別会員〕 関 齋

